	No. 40 —	1 基本事務事	業名 吉里	5中央公民	民館企画運営事	事業 事務	务事業名	子ど	も教室事業		公的	関与 6	シート作	成日	平成29年	F6月15日
	部局名	孝	枚育委員	会	課名	1	〉民館		主務課長	名	坂東	-	シート作り	战者名	長涛	頓 和文
	事業区分	1 ソフト	事業		3 経常的事務	务事業	○ 5 衫	甫助金	⋧∙負担金・支	援 ェ	業運営力	<u> </u>	1 直営		3 全	部委託
	争未区方	O 2 11-1	事業	0	4 施設の維持	寺管理	○ 6 ₱	内部管	理事務・その	D他 ^事	未理占力		2 一部委託	託	4 補	助等
		基本構想(政	(策) 1.	人が輝くる	まちづくり				実施計画			=	事業の開始	台·終了		
	総合計画	基本計画(施		生涯学習	『の充実			•	1 該当		成	年 ~	平成	年	期間	設定なし
		主要施策	(5)	特色あるな	生涯学習プログ	うムの整	備∙提供		2 非該当	相	拠法令	等 社会	教育法 阿	波市公民	民館条例	
		対象(誰を、 何を)	吉野地区	区内の小学	:校児童、保護者	 者他										
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	いろいろな	なことを体験し、	教育文化	比、生活文	化の	振興、及び仲間	間づくりと	しての連	帯感の意識	高揚を図り	リます。		
PL		たいのか)	今年度													
AN		具体的にどの	のようなだ	舌動を行し	いますか。(主	なもの5 [.]	つまで)									
N		① 本·紙芝居	の読み聞か	かせは、吉野	地区内の保育所	•幼稚園•/	学校で行	い、興	味や関心、言葉の	の持つ意味	、あるいは	内容などを通	して仲間づく	りなど教育	育文化の振	興を図ります。
	事業の	2														
	活動内容	3														
		4														
		5														
		指標名	名 <u> </u>	計算式又	スは指標設定理	里由 単	位		平成 27		平成	28 年度		成 29		最終目標
	数値目標	読み聞かせ参加	者数	10人×1	2月=120			標		120			120		120	
	(事業の目的			' '			美	績		42			84			
	及び活動内 容の達成度							標								
	谷の達成度 を測る指標)							績								
	EW101011/							標								
	マ佐井口	会 計		фП.	소리			績	曲		- 14± /	人北去			八口約書	±
	予算費目	会 計	l vi	一般 ² 成 2	会計 7 年度決議	算 平	款 10	教育 28	年度決算	項 平成	5 社会	会教育費 年度予:		3	公民館費 備考	<u> </u>
		国庫支出		- 八、		好 十 千円	7以, 2	20	十 及 万 异	十八	29		异 千円		1 開	
		県支出	金			千円			千円				<u> </u>			
		地方	<u></u> 債			千円			千円				<u> </u>			
D	直接事業費	その他特定				千円 千円			千円				<u> </u>			
O		一般財	源		60 -				60 千円				<u> </u>			
		計(A)	41135		60				60 千円			70				
		正職員工数:	経費 0.	.000 人	0 =		000 人		0 千円	0.000	人	0				
	人件費(B)	臨時·嘱託耶		, ,	館指導員			館指			文、 公民館指					
		臨時·嘱託工数		.011 人	20	千円 0.	110 人		198 千円	0.110		198	千円			
	全体事:	業費(A+B)			80 -	千円			258 千円			268	千円			

				 					<i>\</i>	7 = T/II			かがほの	4 1 1 1		— <i>\</i>	=亚/正	
		1	士が中佐!か		ツク項目	ナギエクスキフタ				マ評価			-次評価の記				評価	
	ν,	۱.				生が確保できる等 と影響は大きくな		0 4	少ない	● 大	きい	に切磋琢	で 養を高めた 磨したりして	、教育文	0	少ない	● 大	きい
	必要	2.	厳しい財政状	に況の中、次年	F度以降実施	もする緊急性が認 はする緊急性が認	忍められない。		いぼ	● あ	క		を図る面か 性がありまっ		0	ない	● あ ²	3
	性					、方法等の改善の		_ a	5 5	ない	い	17122	11/1/10/15	, 0	\circ	ある	な	l)
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			舞自治体と比較し	ンてニーズを) ı	る	• LV	ない				0	いる	• w	ない
		1.	施策の目的を写	実現するために	、事業内容	が必ずしも適切と	こはいえない。) ı	えない	● い	える		齢層が集い の場になって			いえない	● い	える
	有効	2.	事業内容のマン	ノネリ化など、	施策への貢南	状度が著しく高い	とはいえない。) ı	いえない	○ い	える	成果はあ		V . D.&C .	0	いえない	● い	える
C	性	3.	市が実施する	施策の中で類	頁似・重複し	た事務事業が存	存在する。	<u> 9</u>	ける	● した	ない				0	する	● しカ	はい
HECK		4.	事業の継続を	しても成果の)向上が期待	持できない。		0 7	できない	● Ti	きる				0	できない	でき	きる
C		1.	目標設定に対	して進捗状況	兄が劣ってし	いると思う。		O E	標に比	べて劣って	いる		研修を重ね 動も目標は			目標に比べ	べて劣って	いる
	達世	2.	目標設定に対	けして成果があ	ちまり上がっ	っていないと思う	5 .	O at	きり上か	ぶっていない	١	ています		達成でき	\bigcirc	あまり上が	っていない	١
	成度	3.	目標設定に対	けして概ね目標	票を達成して	ていると思う。		○ 相	祝さ達成	している					•	概ね達成	している	
		4.	目標設定に対	けして十分に目	目標を達成し	していると思う。		+	分達成	えしている					0	十分達成	している	
		1.	効果に比べて	コストが高い	١,				高い	● 適	当		算内での活 3は個人負担		0	高い	● 適	当
	効率	2.	他の実施主体	ふ のノウハウヤ	り新たな制度	きを活用できる。		0 7	できる	でき	きない		率的は良いで		\circ	できる	● で	きない
	性	3.	予算・人員と	:成果の関係で	き、実施手段	没等を見直す余 地	也がある。	_ a	ある	なり	い				\circ	ある	な	l,
		4.	電子化や契約	方法の変更な		コスト削減の余地	也がある。	_ a	ある	なり	い				\circ	ある	な	l,
					一次	(評価							二次	評価				
	電車右	三点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評	平価	ļ	必要性	7	有効性	達成度	効率	性	総	合評価	
			4	4	4	4	Α			4		4	3	4			Α	
		後の	○ 拡大·充			○ 方法改善	〇 民間委託	托等	0	拡大・	充実_	● 現場		方法改		○ 民間	雪 委託等	F
A	方向	勻性	○ 縮小	○ 統合/終	と期設定	○ 廃止/休止			0	縮小	\bigcirc	統合/終		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
A C T											二次	評価での	指摘事項及	び一次評	平価と(の相違点	į	
Ť	当市	面の	子ども教室事	業を推進する	ため、今後と	:も活動範囲を広る	めさらに参加者	お増や	ι									
i	課	題	ていきます。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		0,123,1011												
0									± 4	<u> </u>			//.	1A=11 4-1	8 ~ V4 (1	-//		
N	改善	丰案							一事	長内谷に	ついて	、マンネリ	化しないよう	検討しなか	り進め	てくださ	ر۱°	
			限られた予算	で活動している	5ため.効率	よく計画して進め	ます。											
	計				,	- 11, 10 1,20												
		会																
		事項																

	No. 40 —	2 基本事務事	事業名 吉野	中央公民館	官生活文化振興	事業事	務事業名	各種	重団体の育成		公的	関与 9	シート作り	成日 平	成29年	6月15日
	部局名	孝	b育委員 [·]		課名		公民館		主務課長	名	坂東 孝	<u> </u>	シート作成	注者名		和文
	事業区分	1 ソフト	事業		3 経常的事務	务事業	0 5	補助st	金・負担金・支	援 📗 🕳	業運営方	.:+	1 直営		3 全	部委託
	尹未四刀	O 2 11-1	事業	0	4 施設の維持	寺管理	0 6	内部管	管理事務・その	D他 事	未理呂刀		2 一部委託	ŧ [4 補	助等
		基本構想(政	(策) 1.	人が輝くる	まちづくり				実施計画			Ę	事業の開始	à∙終了		
	総合計画	基本計画(施	<mark>飯策)</mark> (2)	生涯学習	の充実			O	1 該当	平	成	年 ~	平成	年	期間	没定なし
		主要施策	(5)	特色ある生	主涯学習プログ	ラムの	整備∙提供	0	2 非該当	村	拠法令等	等 社会	教育法 阿淀	波市公民館	館条例	
		対象(誰を、 何を)	阿波市民	そ、各クラブ	が団体他											
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	阿波市民	、各団体等の	活動を追	通して親睦	•交流	を深め、生活な	て化の向上	を図ります	す。				
PL		たいのか)	今年度													
AN					いますか。(主											
N		① 茶道教室	は、毎月	3回開催し	、市民に方々(の作法・	教育等の	向上を	と図ります。							
	事業の	② 囲碁の集	いは、毎	週火曜日	に開催し、囲碁	を通じて	て親睦・交流	たを深	めます。							
	活動内容	③ トールペー	イントは、	月1回の開	開催ですが、作	品を通し	て親睦・3	を流を	深めます。							
		④ パッチワ・	ーク教室に	は、毎月2	回開催し、作品	を通じて	て親睦・交流	流を深	₿めます。							
				Ē合会∙吉퇰	<mark></mark> 野消費者協会等			活動等						0		
		指標名	名	計算式又	ては指標設定理	里由	単位		平成 27	年度	平成	28 年度	平月	丸 29 年	度	最終目標
	数値目標	茶道教室			×7×12月=2	252		標		150			252		252	
	(事業の目的	水足		人			三	ミ績		276			288			
	及び活動内	囲碁の集い			×10×12月=	480		標		640			480		480	
	及び店動内 容の達成度 を測る指標)	H4-17/10		人			<u> </u>	に 積		485		4	480			
	で例の指標)	トールペイント		毎日1回2	×5×12月=6	الم		標		100			60		60	
								[績		43			58			
	予算費目	会 計			会計			教育		項	5 社会				民館費	•
				7成 2			平成	28	年度決算	平成	29	年度予		1	備考	
		国庫支出				千円			千円				千円			
			金			千円			千円				千円			
	直接事業費	地方	債			千円			千円				千円			
D		その他特定				千円			千円				千円			
0		一般財	源		70				60 千円			60 -				
		計(A)	<i>t</i> = +b		70				60 千円			60				
	1 11 115 / - 5	正職員工数:		000 人		千円 (0.000 人	7 Aut 11	0 千円	0.000	, ,	0 -	千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託耶			館指導員			館指			公民館指					
	A /1 ===	臨時·嘱託工数·	·経費 0.	510 人	918		0.510 人		918 千円	0.510	人	918				
	全体事	業費(A+B)			988	千円			978 千円			978	千円			

				 	・・・・・カロ						' ਅ ਵਜ਼ਾ ਸ਼	5		一治部年の	光 四		— ·/-	=17/11	
		1 4	<u> </u>		ツク項目	<u> </u>	でルスモフダ	小			次評価	Ц		-次評価の				評価	
	ν.	1.	市が実施しな主体があり、						0	少ない	•	大きい	めたり、衤	マの作法・ 現睦や交流を	深めたり		少ない	• 7	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	状況の中、次年	F度以降実施	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある	する場で あります。	あることから	、必要性が		ない	• a	ある
	性		住民満足度の何						0	ある	•	ない	0,75,7	0		\circ	ある	• to	はい
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			隣自	治体と比較し	,てニーズを 	0	いる	•	いない				0	いる	• ı	いない
		1.	施策の目的を写	実現するために	、事業内容	₹が必	必ずしも適切と	:はいえない。	0	いえなし	,	いえる		動、各種会 され、市民が		0	いえない	• ı	ハえる
	有効	2.	事業内容のマン	ノネリ化など、	施策への貢献	献度	が著しく高いと	とはいえない。	0	いえなし	,	いえる	参加して	いるので、有			いえない	• ı	ハえる
C	性	3.	市が実施する	施策の中で類	頁似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しない	いです。			0	する	Ο ι	しない
HECK		4.	事業の継続を	しても成果の	つ向上が期待	待で	きない。		0	できなし	,	できる				0	できない	O 7	できる
CK		1.	目標設定に対	して進捗状況	兄が劣ってし	いる	と思う。		0	目標に	比べて劣	合っている		動、各種会 され、市民が			目標に比	べて劣っ	ている
	達世	2.	目標設定に対	けして成果があ	あまり上が、	って	いないと思う	, .	0	あまり上	がってい	ない	参加して	いるので、有		0	あまり上が	っていな	い
	成度	3.	目標設定に対	けして概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	成してい	る	いです。			•	概ね達成	している	
		4.	目標設定に対	して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		•	十分達	成してい	る				0	十分達成	している	
		1.	効果に比べて	コストが高い	١,				0	高い	•	適当		予算内での 一部個人負		0	高い	O i	適当
	効率	2.	他の実施主体	のノウハウャ	新たな制度	度を	活用できる。		0	できる	•	できない		し、効率性は		\circ	できる	• 7	できない
	性	3.	予算・人員と	:成果の関係で	で、実施手具	段等	を見直す余地	がある。	0	ある	•	ない				\circ	ある	• t	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	ょどにより:	コス	ト削減の余地	がある。	0	ある	•	ない				\circ	ある	• #	まい
					一 次	欠評	価							二次	評価				
	電車右	三点	必要性	有効性	達成度	F	効率性	総合評	平価		必要'	性	有効性	達成度	効率	性	総	合評值	<u>#</u>
			4	4	4		4	Α			4		4	3	4			Α	
		後の	○ 拡大·充				方法改善	〇 民間委	托等		_	大・充実	● 現物		, ,,,,,,,	-]委託	等
A	方「	句性	○ 縮小	○ 統合/終	§期設定	0	廃止/休止)縮小	$\overline{}$	統合/終		, 100 1				
ACT												二次	マ評価での)指摘事項》	及び一次訳	平価と	の相違点	į	
Ť	当同	面の	子ども教室事	業を推進する	ため、今後と	とも活	舌動範囲を広る	めさらに参加者	を増や	やし									
Ī	課	題	ていきます。																
0										.¢isl	·/+· —	. 	+	74941-11	·				
N	改	革案								和	続して	美肔し、「	巾氏への周	目知をしてくた	:ろい。				
			限られた予算	で活動している	るため、効率	をよく	(計画して進め	ます。											
		·画				,		- • •											
		員会																	
	指摘	事項																	

	No. 40 —	3 基本事務事	業名 吉里	予中央公民	館施設管理事	業事務事	業名公	民館施設管理	事業	公的関与	76シ	ート作成日	平成29年	年6月15日
	部局名	教	育委員:	会	課名	公民	館	主務課長	名	坂東 孝一	シー	-ト作成者名		頼 和文
	事業区分	○ 1 ソフト?	事業		3 経常的事務	事業	5 補助]金・負担金・支	援	業運営方法	✓ 1 🖟	営	3 全	≧部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業	0	4 施設の維持	管理 (6 内部	『管理事務・その	の他	未连呂万広	2 -	-部委託	4 補	助等
		基本構想(政	<mark>〔策〕</mark> 1	人が輝くる	まちづくり			実施計画			事業	の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	<mark>策)</mark> (2)	生涯学習	の充実		(1 該当	平	·成 年	· ~ 平	·成 年	期間	設定なし
		主要施策	(2)	生涯学習	関連施設の整備	充実•機能	強化(2 非該当	村	艮拠法令等	社会教育	法 阿波市公民	民館条例	
		対象(誰を、 何を)	阿波市民	₹										
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	地域生涯	学習の拠点とし	て、利用者だ	が安全で	快適に活動でき	るように糸	掛き埋を図り	Jます。			
PL		たいのか)	今年度											
A		具体的にどの	りような流	舌動を行し	ヽ ますか。(主な	もの5つま	(で)							
N		① 消防設備	の点検											
	事業の	② 電気の保	安業務											
	活動内容	3												
		4												
		5												
		指標名	各	計算式又	(は指標設定理	由単位		平成 27	年度	平成 28		平成 29		最終目標
	数値目標	開館日数		 年間日数	359 ⊟	日	目標		359		359		359	
	(事業の目的	7024 - 20		116162			実績		359		359			
	及び活動内	利用者団体数		茶道教室	他18	クラブ数	目標		18		18		18	
	容の達成度 を測る指標)			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			美積		18		18			
	ではいの日本						目標							
	2 体 井 口	A =11		én.	A =1	+4	実績			- 1+1 -> +/-	大 #		ᄼᄆᅓᆥ	
	予算費目	会 計	l T		会計	款			項	5 社会教		目 3		₹
		国庫支出		成 2		平成 ·H	28	年度決算 ^{千円}	平成	29 左	F 度予算 千円		備考	
		県 支 出	金			·H		<u> </u>	+		<u> </u>			
		<u>宗 又 山</u> 地 方	亚 - 債			·円		<u> </u>			<u> </u>			
D	直接事業費	その他特定則				·円					千円			
O		一般財	源			円		2,157 千円		2	.135 千円	1		
		計(A)	///\		1,956 1			2,157 千円			.,135 千円	1		
		正職員工数:	経費 0	000 人	0 =		人	0 千円			0 千円	1		
	人件費(B)	臨時·嘱託聯			館指導員	5,550	公民館			公民館指導		1		
		臨時·嘱託工数·		280 人	504 +	円 0.280		504 千円		人	504 千円	1		
	全体事	業費(A+B)			2,460 ∓			2.661 千円			.639 千円	1		

				_	∠- ∓ □						_ = 				o =\/ =	-			== /
					ック項目					一次	マ評価			-次評価の				二次	評価
		1.		なくても、公平 事業を廃止・				也の実施	0 :	少ない	• :	大きい	地域の方	が、積極 、必要性に			0 :	少ない	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次年	度以降実施	をする緊急性	生が認めら	られない。		ない	O 7	ある	ます。				O 7	ない	ある
	性			向上のために、						ある	O 7	ない					0	ある	● ない
		4.		の低下がみられ ごスとなってし		ぬける はんしょ はんしょ はんしょう はんしょう はんしょう はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょう はんしょ はんしょう はんしょ はんしょう はんしょう はんしょう はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	比較してニ	ニーズを	0	いる	O (いない					0	いる	● いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	が必ずしも	適切とはい	えない。	0	いえない	O (ハえる	各種団体す。	が有効に	利用し	していま	0 1	いえない	● いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢献	献度が著しく	高いとはい	ヽえない。	0	いえない	O (ハえる					0 1	いえない	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中で類	類似・重複し	した事務事業	業が存在す	ける。	0	する	● 1	しない	1				0	する	● しない
HE		4.	事業の継続を	をしても成果の)向上が期待	寺できない。			0	できない	•	できる					0	できない	● できる
ECK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	記が劣ってし	いると思う。			0 1	目標に比	べて劣っ	ている		が少ないの			O 1	目標に比	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果があ	まり上がっ	っていないと	ヒ思う。		O 8	あまり上か	バっていな	:١١	けていき) () (ተታውክ	O 8	あまり上が	っていない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	悪を達成して	ていると思う	5 。		O #	概ね達成	している		l				• †	既ね達成	している
		4.	目標設定に対	対して十分に目	標を達成し	していると思	思う。		O -	十分達成	えしている)					O -	十分達成	している
		1.	効果に比べて	てコストが高い	١,				O :	高い	()	適当		すい公民:			O i	高い	● 適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウヤ	b新たな制度	度を活用でき	きる。		O .	できる	•	できない	理、効率				0.	できる	● できない
	性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係で	:、実施手具	役等を見直す	ナ余地があ	ある 。	0	ある	O 7	ない	す。				0	ある	● ない
		4.	電子化や契約	的方法の変更な	ょどにより=	コスト削減の	の余地があ	ある 。		ある	O 7	ない					\circ	ある	● ない
					一次	マ評価								=	次評(西			
	=17.7	西点	必要性	有効性	達成度	効率	性	総合評	· 価	ļ	必要性		有効性	達成原	芰	効率性	生	総	合評価
	<u>-</u>	川川	4	4	4	4		Α			4		4	3		4			Α
	今往	多の	○ 拡大・充	⋶実 │ ● 現場	犬維持	○ 方法改	善	民間委託	毛等	0	拡大	•充実	● 現状	弋維持		方法改善	唐	○ 民間]委託等
Λ	方向	句性	○ 縮小	○ 統合/終	期設定	○ 廃止/休	上		_	0	縮小	0	統合/終	期設定		廃止/休	止		
\overline{c}				•								二次	:評価での	指摘事項	頁及び	一次評	価との)相違点	į
ACT-0		面の	施設の老朽仏	とが進んでいる	ため、整備だ	が必要です。	,			合理	里的∙効								を目指した取
N	と를	革案 実行 ·画	地域住民の7 ます。	ちが今以上に利	囲しやすい		て、予算内	で維持管	理を図	担め	を進めて	ください	١,						
		員会 事項																	

	No. 40 —	4 基本事務事	業名 吉里	抒柿原公民	. 館施設管理事	業事務事	事業名	公民館施設管	管理事	業	公的関	与 6	シート作成日	平成29年	丰6月15日
	部局名	孝	育委員	会	課名	公臣	民館	主務認	果長名		坂東 孝-		ノート作成者名		頼 和文
	事業区分	1 ソフト	事業		3 経常的事務	事業 () 5補	助金·負担金	҈⁺支援	車業	運営方法	1	直営	3全	҈部委託
	争未应力	○ 2 ハード			4 施設の維持	管理() 6内	部管理事務	その作	也	建苦刀石	2	一部委託	4 裤	亅
		基本構想(政						実施計	画				業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施						● 1 該当		平月			平成 年		設定なし
		主要施策	(2)	生涯学習	関連施設の整備	請充実・機能	能強化	○ 2 非該当	á	根	処法令等	社会教	育法 阿波市公	民館条例	
		対象(誰を、 何を)	阿波市民	民(吉野町村	市原地区)										
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	地域生涯	学習の拠点とし	て、利用者	が安全	で快適に活動	できる。	ように維持	寺管理を図	ります。			
PL		たいのか)	今年度												
AN		具体的にどの	りような流	舌動を行し	ヽますか。(主な	よもの5つ	まで)								
N		① 公民館施													
	事業の	•		汝育•生涯等	学習関連情報の	提供									
	活動内容	③ 施設の維	持管理												
		4													
		5	_												
		指標名	ž		なお指標設定理				27 年		平成 2		平成 29		最終目標
	数値目標	利用人数			使用頻度の指標	票 人	目			800		80	-	800	
	(事業の目的			として		_	実			600		62	20		
	及び活動内 容の達成度						実								
	を測る指標)						目:								
							実								
	予算費目	会 計			会計			教育費		項	5 社会教	古 春	目 3	公民館費	事
	了开关口	Д	平	成 2					質	平成		本度予算		備考	-
		国庫支出				f 円			千円	1 774		+1/ <u>2 </u>		P 13 · 3	
		県 支 出	金			f円			千円			千日			
		地 方	債		7	f円			千円			千F	円		
D	直接事業費	その他特定			120 =	f円		120	千円			120 ∓ F	円		
0		一 般 財	源		525 ∓	f円		529	千円			637 ∓F	円		
		計(A)			645 1				千円			<mark>757</mark> 千日			
		正職員工数·		.000 人	0 =	戶円 0.00	0 人		千円	0.000		0 ∓F	円		
	人件費(B)	臨時·嘱託聯			館指導員			館指導員			民館指導				
		臨時·嘱託工数	経費 0.	250 人	450 =		0 人	450		0.250	•	450 ∓ F			
	全体事	業費(A+B)			1,095 =	f円		1.099	千円			<mark>1,207</mark> 千F	円		

					エェぃ	ック項目					_	-次評	価		_	-次評価の	フ書はこ	1R		二次	- 言示 /田	6
		11	市が宝施した				性が	で確保できる等	他の実施							法に基ず						
	ν,		主体があり、	事業を廃	止・1	休止して	も影	響は大きくな	い。	0	少なし	, (大き	E(1	て、地域化	住民の方々	マがタ	集う場	0	少ない	0	大きい
	必要	2.	厳しい財政制	犬況の中、	次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない		ある		所、またなして必要	生涯学習》 です。	き動(の拠点と		ない		ある
	性							方法等の改善の		0	ある	(ない	١		- , 0			0	ある	0	ない
		4.	住民ニーズの上回るサート				:隣自	治体と比較し	,てニーズを 	0	いる	(いな	۱Ji					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するた	めに、	、事業内容	容が必	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	il (いえ	.る		あまり多く るため、地			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化なる	ビ、施	策への貢	献度	が著しく高いと	こはいえない。	0	いえな	il (いえ	.る	方々が気	軽に利用	でき	る施設と	0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中	で類	似・重複	した	:事務事業が存	在する。	0	する	(しな	:(1	して、周知 す。	印等行う必	· 安 か	かりま	0	する	•	しない
HECX		4.	事業の継続る	をしても成	果の	向上が期	待で	きない。		0	できな	il (でき	る					0	できない	•	できる
C		1.	目標設定に対	対して進捗	状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標は	こ比べて	劣ってし	いる		様、利用平 煮する必要			0	目標に比	べて劣	っている
	達世	2.	目標設定に対	対して成果	があ	まり上が	って	いないと思う	o	0	あまり.	上がって	いない		るか、右)	思りる必ず	∠/J,0	りかみり。	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね	目標	を達成し	てい	ると思う。		0	概ね道	達成して	いる						•	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	対して十分	に目	標を達成	して	いると思う。		•	十分证	達成して	こいる						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが	高い。	0				0	高い	(適当	当		します。 の運営方			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハ	ウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる		でき	ない	としては約	维持管理(りみて		0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	上成果の関	係で、	、実施手	段等	を見直す余地	ヹがある。	0	ある	(ない	١	&)、削減	は困難です	,		0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	的方法の変	更な	どにより	コス	ト削減の余地	がある。	0	ある	(ない	١					0	ある	0	ない
						_	次評	価								=	次評	価				
	評価	甲	必要性	有効性	Ė	達成原	舛	効率性	総合訓	平価		必要	更性	1	有効性	達成原	л4г	効率	生	総	合評	価
			4	4	TD .1 1	4		4	A	=- kk			<u> </u>	<u> </u>	4	3		4	<u>~</u>	\sim 00	<u> </u>	or he
		多の	○拡大・弁			維持		方法改善	〇 民間委	<u> </u>			大・充	T =	● 現状			方法改善		○ 氏師]委	t寺
ACT	יות	句性	○縮小	○ 統合	/ 於 #	期設定	0	廃止/休止				新	小	<u> </u>	統合/終			廃止/休		の出海は		
C	\IZ =	- ~		L , , \ - +2	4_ :	- 716-0					. , 📙			<u> 一</u>	評価での	1拍拗争り	汉()一次評	個と	の相違に	1	
Ţ			地域住民の7 進んでおり整			える施設	として	て、利用の推進	が必要です。	老村1	Ľŧ											
10	林	迅	進んで35年	(岬か)必女(- 9 o							ᇫᅖᄽ	. 	65+×	運営、また	佐訳の	≡ ≠ ∕	今ルル 古り	++-4	# + 土 /竺 III 7	5 - - 1	اکا + <u>-</u> ⊞
N	ᆲ	革案											ごめてく			、他設の	支寿	10161~1円1	フ /こが	性行官 理?	<u>t 8 1</u>	ョレ/こ4X
		₽栞 実行			ります	っまた市	全体	の公民館として	て、運営方法の	の見直	īしも		0, 0, 1,	,	0							
		画	行う必要があ	ります。																		
		員会 事項																				

	No. 40 —	5 基本事務事	業名 八郎	番公民館企	:画運営事業	事務事	業名三	世代ふれあい	事業	公的関	与 8 シ	ンート作成日	平成29年	F6月15日
	部局名	耈	有委員 [·]	会	課名	公民	:館	主務課長	名	坂東 孝-	- シ	一卜作成者名	長涛	頓 和文
	事業区分	① 1 ソフト?	事業	0 (3 経常的事務	事業) 5 補助	金·負担金·支	援	業運営方法	<u>√</u> 1 į	直営	3全	部委託
	争未区万	○ 2 ハード	事業	0 4	4 施設の維持	管理	6 内部	管理事務・その	の他	未理呂刀冮	2 -	一部委託	4 補	助等
		基本構想(政	(策) 1.	人が輝くま	きづくり			実施計画			事第	業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	策)(2)	生涯学習	の充実		C)1 該当	平	成 ^左	፣ ~ ቫ	YFF	期間	設定なし
		主要施策	(5)	特色ある生	涯学習プログラ	ラムの整備・	・提供 ●)2 非該当	村	视法令等	社会教育	育法 阿波市公	民館条例	
		対象(誰を、 何を)	八幡老人	、クラブ・ヘノ	ルスメイト・八幡	小学校6年	生児童							
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	三世代が-	一緒にひな祭り	料理を作り	、健康講座	座や演劇を開催	し、お節句]と卒業を祝し	ハ、人とのと	出会い体験学習	を実施しる	ます。
PL		たいのか)	今年度											
AN		具体的にどの	りような流	舌動を行い	ますか。(主な	ょもの5つま	きで)							
N		① 栄養士に												
	事業の	② 三世代間	ふれあい	い調理実習										
	活動内容	③ 健康講座	<u> </u>											
		④ 小学校6:	年生児童	による芸能	発表会									
		5												
		指標名	各	計算式又	は指標設定理	曲 単位		平成 27	年度	平成 2	8 年度	平成 29	年度	最終目標
	数値目標	三世代ふれあい料	料理教室参	1回		人	目標		60		50		50	
	(事業の目的	加者数		123			実績		43		50	0		
	及び活動内						目標							
	容の達成度 を測る指標)						実績							
	で別の田保)						目標							
							実績			11. 4 1				
	予算費目	会 計		一般组			10 教		項	5 社会教		目 3	公民館費	₹
				成 27			28	年度決算	平成	29 :	年度予算		備考	
		国庫支出				-円		千円			千円			
		県 支 出	金			-円		千円			千円			
	直接事業費	地方	債			-円		千円			千円	_		
DO		その他特定則				-円		千円			千円			
U		<u>ー 般 財</u> 計(A)	源		64 ∓			53 千円			98 千円	_		
			∅ 建	000	64 +			53 千円	0.000		98 千円	_		
	し供書(ロ)	正職員工数·和 臨時·嘱託職		000 人	<mark> </mark>	円 0.000	公民館	● 0 千円 上道 号	0.000		0 千円	1		
	人件費(B)	品時·嘱託工数·			B拍导貝 450 ∓	- 円 0.250		百 得貝 450 千円		公民館指導	·貝 <mark>450</mark> 千円			
		^{晒吋・嘱託工数・} 業費(Δ+B)	性貝 0.	250 人	514 ±			503 千円		7	548 壬四			

					<u> </u>						\ <u>_</u> =-	· ITT			_==\	====			,_		_
					ック項目		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				-次評	'1曲			$-$ 次評価 σ		_		二次	評価	1
		1.		なくても、公平 事業を廃止・					0	少なし	ν <u>(</u>	大き	₹l1	現在、高	î化∙核家族 齢者∙ヘル	スメイ	仆∙児	\bigcirc	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない		ある)]に集い料 ³ 間の違う人			\bigcirc	ない	•	ある
	性			向上のために、					0	ある	(ない	١	いを深め	る事業とし			0	ある	•	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	,てニーズを -	0	いる	(いな	il\	高いです	0			0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	字が必	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえた	il (いえ	.る		児童の卒業 或の人達に			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	こはいえない。	0	いえた	il (いえ	<u>る</u>	着してお	り、三世代	間の	学習の	0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中で数	頁似・重複	した	:事務事業が存	在する。	0	する	(しな	il١	1一環とし	て有効性高	いて	. 9 .	0	する	•	しない
HECK		4.	事業の継続を	としても成果の	つ向上が期	待で	きない。		0	できな	il (でき	る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標は	こ比べて	劣ってし	いる	参加者にす。	は大変好	评を行	导ていま	0	目標に比	べて劣	っている
	達世	2.	目標設定に対	付して成果があ	あまり上が	って	いないと思う	0	0	あまり	上がって	いない		9 0				0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		0	概ね道	主成して	いる						•	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対	けして十分に目	目標を達成	して	いると思う。		•	十分证	達成して	こいる						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高い	١,				0	高い		適当	当		ら見ても活 性は高いで			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	*のノウハウ*	5新たな制	度を	活用できる。		0	できる		でき	ない	7,0%,+	TICKED .	-		0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	≤成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	ヹがある。	0	ある		ない	١					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	り方法の変更 <i>な</i>	ょどにより	コス	ト削減の余地	ヷがある。	0	ある		ない	١					\bigcirc	ある	•	ない
					— <u>;</u>	次評	価								二》	欠評·	価				
	電車右	三点	必要性	有効性	達成度	λΉ	効率性	総合評	価		必要	要性	7	有効性	達成度	F./	効率性	生	総	合評	価
		ш лк	4	4	4		4	Α				4		4	3		4			Α	
		後の	○ 拡大・充	E実 ┃ ● 現料	犬維持	0	方法改善	○ 民間委託	托等		<u>(</u> 拉	大・充	実	● 現状	犬維持	\bigcirc	方法改善	小小		引委詞	〔 等
Δ	方「	句性	○ 縮小	○ 統合/終	¥期設定	0	廃止/休止				統	小		統合/終	期設定		廃止/休	止し			
\overline{c}					•								二次	評価での	指摘事項	及し	「一次評	価との	の相違点	Ī.	
ACT-		面の 題	事業がマンネ	り化しないよう	に、充実し	たプ	ログラムの企同	画に努めます。													
0											多くのī	市民に	定着	できるよう	工夫をして	くださ	<u>ځ</u> ر،				
N		草案 電行	三世代ふれね していきます。	かい事業として	、地域に根	づい	ており、時代に	マッチした企画	画運営								- 0				
	計	画	していさまり。	0																	
		曼会 事項																			

	No. 40 —	6 基本事務事業	業名 八帆	番公民館1	企画運営事業	事務事	業名 地址	ずふれあい事:	業	公的関与		ート作成日 平	成29年	6月15日
	部局名	教	育委員:	会	課名	公民的	館	主務課長	名	坂東 孝一	シー	-卜作成者名	長潮	〔和文
	事業区分	1 ソフト事	業		3 経常的事務事	業	5 補助:	金·負担金·支	援 🖢	業運営方法	✓ 1 直		3 全	部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業		4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・その	D他 事:	未连占力広	_ 2 -	-部委託 [4 補	助等
		基本構想(政策						実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	<mark>策)</mark> (2)	生涯学習	『の充実		O	1 該当	平		. ~ 平	成 年 [期間	設定なし
		主要施策	(5)	特色ある生	上涯学習プログラ 』	ムの整備・持	提供	2 非該当	根	拠法令等	社会教育	法 阿波市公民	館条例	
		対象(誰を、 何を)	八幡老人	、クラブ会員	員・八幡認定子ども	園児								
		目的(どうい)	最終的	少子高齢	化の中で幅広い生	F齢層に、	体験学習	や発表会の機会	会を提供し	てふれあいる	を深めていき	きます。		
P		たいのか)	今年度											
AN					ヽますか。(主なも		で)							
N					首とのふれあい交流									
	事業の)			音とのふれあい体!		ニ運動会・	クリスマス会)						
	活動内容)	子ども園	児と高齢者	音との交通安全キー	ヤンペン								
		4												
		<u>5</u>	•	= <i> </i> =================================	· /ㅗ+ヒ-#==ハ.ᄼᄀᄪᆠ	1 24 /		ᄑᄼᇬ	左曲	π. 	左曲	ᄑᄚᇮᄺ	- -	日幼口垣
		指標名	1	計昇	は指標設定理由	単位	目標	平成 27	<u>平</u> 度 70	平成 28	50 50	平成 29 年	- 	最終目標
	数値目標	ふれあい交流会		2回 25人	.×2	人	実績		45		60		30	
	(事業の目的 及び活動内						目標		280		120		120	
	容の達成度	ふれあい体験事業		2回 60人		人	実績		120		124		120	
	を測る指標)						目標		50		40		40	
		交通安全キャンペー	ーン	1回 40人		人	実績		51		50			
	予算費目	会計		一般	会計	款	10 教育	責費	項	5 社会教	育費	目 3 公	民館費	
			平	成 2	7 年度決算	平成	28	年度決算	平成	29 年	F度予算		備考	
		国庫支出			千円	l		千円			千円			
			金		千円	ı		千円			千円			
	直接事業費		債		千円			千円			千円			
D		その他特定財			千円			千円			千円			
0			源		0 f F			0 千円			0 千円			
		計(A) 工咖啡工業 42	7 建 2	000 1	0 ff			0 千円	0.000		0 千円			
		正職員工数·紹 臨時·嘱託職		000 人	<mark> </mark>		人 公民館指	0 千円	0.000	人 公民館指導	0 千円			
		una nar • una est hac					ソン H― 月日 4日	가는 H	,	ᄼᆞᅩᇠᄖᇎᆉᇊᄁᆖᆝ				
1 1	人件費(B)	臨時·嘱託工数·絲		230 人	站拍导貝 414 千円		人	414 千円	0.230	人	2 414 千円			

				チェ	ック項目					_	·次評值	<u> </u>	_	−次評価の	説明			二次	評価	
		1.	市が実施しな主体があり、						0	少ない	•	大きい		^{佘化している} ぶは、ふれ			○ 少カ	ない	大きい	
	必要	2.	厳しい財政状	況の中、次年	度以降実施	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	0	ある	る事業と	して必要で	す。		○ なし	۱,	ある	
	性	3.	住民満足度の応	与上のために、	現在の手段	と、 カ	法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない					🔾 ಹಕ	3	● ない	
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			隣自	治体と比較し	<i>、</i> てニーズを	0	いる	•	いない					<u></u> ાષ્ટ	5	● いない	
		1.	施策の目的を第	実現するために	、事業内容	『が必	がずしも適切と	はいえない。	0	いえな	r, •	いえる		らも豊富であ し達との和を			○ <i>い</i> え	えない	● いえる	
	有効	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、	施策への貢	献度:	が著しく高いと	とはいえない。	0	いえな	ربا ا	いえる		効性は高い			○ <i>いえ</i>	えない	● いえる	
C	性	3.	市が実施する	施策の中で類	類似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しない					<u></u> する	3	● しない	
HUCX		4.	事業の継続を	しても成果の	向上が期待	待で	きない。		0	できな	ı, O	できる					○ でき	きない	● できる	
CK		1.	目標設定に対	して進捗状況	別が劣ってし	いる	と思う。		0	目標に	比べて多	片っている	参加者に	には大変好詞	呼を得てし	いま	○ 目標	票に比り	べて劣っている	
	達	2.	目標設定に対	して成果があ	まり上が	って	いないと思う	0	0	あまり」	こがってし	ない	7 0				○ あま	り上が	っていない	
	成度	3.	目標設定に対	して概ね目標	票を達成し [・]	てい	ると思う。		0	概ね達	成してい	る					○ 概	a達成l	している	
		4.	目標設定に対	して十分に目	標を達成	して	いると思う。		•	十分達	成してに	いる					+5	分達成	している	
		1.	効果に比べて	コストが高し	١,				0	高い	•	適当		いら見ても活 性は高いで		充	○ 高に	Ŋ	● 適当	
	効率	2.	他の実施主体	のノウハウギ	新たな制度	度を	活用できる。		0	できる	0	できない		-1710/1010			● でき	₹ る	○ できない	,
	性	3.	予算・人員と	成果の関係で	、実施手	段等	を見直す余地	がある。	0	ある	0	ない					<u></u>	3	● ない	
		4.	電子化や契約	方法の変更な	こどにより:	コス	ト削減の余地	゚゚゚ゕ゙ある。	0	ある	0	ない					🔘 ಹಕ	3	● ない	
					-	欠評									マ評価					
	評值	西点	必要性	有効性	達成度	Ę		総合評	[価		必要	性	有効性 4	達成度	效	<mark>カ率性</mark> 3	Ξ	総	合評価	
	今往	を の	1	•		\bigcirc	 方法改善	A ○ 民間委託	托等	(大·充実	 ┃	•	 〇 方法	<u>。</u> 改善		民間	_ <u>A</u>]委託等	
Δ		句性	○ 縮小	○ 統合/終	期設定	Ŏ	廃止/休止) 縮/	小 (C)統合/終	期設定		_/休」	E _			
ACT												二次	対評価での)指摘事項	及び一刻	次評価	西との村	目違点	į	
H-0			事業がマンネ! なるよに企画!		に、事業内	容を	工夫し地域に	密着した事業の	の展		徐 小	>子宫龄(トがますま ⁻	す進行する	ことが予え	相さわ	ı≢a =	- — ズ	に合った企画	Ŧī
N	と多	革案 【行 ·画	地域住民の学れらに対応する						から、	*		けてくださ		7 YE 11 7 'O'	_C/3	ان <i>د</i> ۱۰	- 0 v	_ ^		리
		i 会 i事項																		

	No. 40 —	7 基本事務事業	名 八帕	番公民館生	活文化振興事業	事務事業	業名 各種	重団体の育成		公的関与	8 シ	一卜作成日 平	·成29年	56月15日
	部局名	教育	育委員	会	課名	公民館	馆	主務課長	名	坂東 孝一	シー	-卜作成者名		頁 和文
	事業区分	● 1 ソフト事	業		3 経常的事務事	業	5 補助:	金•負担金•支	援	業運営方法	1 直		3 全	:部委託
	争未应力	2 ハード事	丰業		4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・その	D他 事:	未连吕万広	_ 2 -	-部委託 [✓ 4補	助等
		基本構想(政策						実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施策					(1 該当	平		~ 平			設定なし
		主要施策	(6)	関係団体	の育成		0	2 非該当	根	拠法令等	社会教育	法 阿波市公民的	館条例	
		対象(誰を、 何を)	内住戶	民(一定区均	戊内)									
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	老人クラフ 助をします	ブ・婦人会・各種講 「。	座等に積札	極的に参え	加し、教養の増	進、生活ス	文化の振興、社	t会福祉の	向上のために自	主的活	動ができる補
PL		たいのか) 🖆	今年度											
AN					ゝますか。(主なも	の5つま	で)							
N		① 成人講座(
	事業の)			齢者講座、スポー					事業、奉仕作	業等)			
	活動内容)			構座・料理教室・ボ -									
			ラブの	連絡、調整	(詩吟・カラオケ・生	€け花・パ	ッチワーク	フ・ちぎり絵・阿	波踊り体損	(等)				
		5		I = 1 ++ 10										
		指標名		計算式又	.は指標設定理由	単位		平成 27		平成 28		平成 29 年		最終目標
	数値目標	成人講座参加者数		5回 15	L	人	目標		90		90		75	
	(事業の目的						実績 目標		90 600		75 500		500	
	谷の连戍皮	老人クラブ事業参加	1者数	25回 20	人	人	実績		428		440		300	
	を測る指標)	各種趣味クラブ参加	老粉	13団体	50 J	人	目標		600		600		600	
			1 D XX				実績		580		570			
	予算費目	会計		一般:		款	10 教育		項	5 社会教育			、民館費	ļ
				成 27		平成	28	年度決算	平成	29 年	度予算	•	備考	
		国庫支出			千円			千円			千円			
			金 (#		千円			千円			千円			
	直接事業費		債		千円			千円			千円			
DO		その他特定財			千円			千円			千円 80 千円			
U		<u>ー 般 財</u> 計(A)	源		50 千円 50 千円			50 千円 50 千円			80 千円 80 千円			
		正職員工数:経	- 書	000 人	0 千円		<u> </u>	0 千円		1	0 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職和			ロープープープープープープープープープープープープープープープープープープープ		公民館指			公民館指導員				
		臨時·嘱託工数·紹		460 人	828 千円	0.460	人	828 千円			₹ <mark>828</mark> 千円			
	全体事	業費(A+B)		- / \	878 千円			878 千円			908 千円			

					-	··卢··						>/ =:	; / =			` ⁄~ == /= /	ア=ドロ	10		- 1	=	
			+ 18+++ 1 1			ック項目	- h4l- / -	ミエカノロー・ナラム				-次評	÷1四			-次評価の					評価	
		1.						で確保できる等 と響は大きくな		0	少なし	۰, (大き	きい	化づくりの	り、仲間づ D拠点とし	て、言	E体的、	0	少ない	● 大	きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、	次年	度以降実	施す	る緊急性が認	思められない。	0	ない	(ある)		参加、活動 要性は高さ			0	ない	あ	3
	性							方法等の改善の		0	ある	(● ない	١		女は16月	~ > C	0 6 7 8	0	ある	で	:L1
		4.	住民ニーズの上回るサート				隣自	治体と比較し	ノてニーズを 	0	いる	(● いな	۱J۱					0	いる	• t,	ない
		1.	施策の目的を	実現するた	めに、	事業内	容が』	必ずしも適切と	:はいえない。	0	いえな	<i>(</i> 1)) いえ	<u>る</u>		が自主的 、活動内容			0	いえない	● い	える
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化な。	ど、施	策への貢	献度	が著しく高いと	とはいえない。	0	いえな	<i>(</i> 1)	・ いえ	<u>る</u>	り、活溌ロ	こ活動して			0	いえない	● い	える
C	姓	3.	市が実施する	る施策の中	で類	似・重複	した	:事務事業が存	在する。	0	する	(● しな	ili	は高いで	ॅ इ			0	する	● L	ない
HECK		4.	事業の継続を	をしても成	果の「	向上が期	待で	きない。		0	できな	(U	でき	る					0	できない	で	きる
C		1.	目標設定に対	対して進捗	状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標は	こ比べて	て劣ってし	いる		、達の輪が 多く、十分				目標に比	べて劣って	ている
	達世	2.	目標設定に対	対して成果	があ	まり上が	うて	いないと思う	j _°	0	あまり.	上がって	ていない		す。	多く、下刀	连灰	していま	0	あまり上が	っていなし	۱,
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね	目標	を達成し	てい	ると思う。		0	概ね道	達成して	こいる						•	概ね達成	している	
		4.	目標設定に対	対して十分	に目	標を達成	して	いると思う。		•	十分证	達成し	ている						0	十分達成	している	
		1.	効果に比べて	てコストが	高い。	0				0	高い	(適当	当		び、団体数: れています		、効率よ	0	高い		鱼当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハ	ウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる) (● でき	ない	1/10 ±/JC1	00.00	0		0	できる	で	きない
	性	3.	予算・人員と	上成果の関	係で、	、実施手	段等	を見直す余地	かある。	0	ある	(● ない	١					•	ある	() な	:۱۱
		4.	電子化や契約	内方法の変	更な。	どにより	コス	ト削減の余地	かある。	0	ある	(● ない	١					0	ある	で	:۱۱
						_	次評	価								=	次評	価				
	量重な	西点	必要性	有効性	ŧ	達成原	隻	効率性	総合評	呼価		必	要性	7	有効性	達成原	叓	効率	生	総	合評価	ī
		洲流	4	4		4		4	Α				4		4	3		3			Α	
		後の	○ 拡大・充	[美]	現状	維持		方法改善	○ 民間委託	託等		○ 扨	大大・対	実	● 現物	犬維持	\bigcirc	方法改善	善]委託等	等
Δ	方向	句性	○ 縮小	│○ 統合	/終	朝設定	0	廃止/休止				新	計小		統合/終	期設定	0	廃止/休	止			
ACT														二次	評価での	指摘事項	夏及7	ゾー次評	価と	の相違点	į	
Ť	≗⊓	面の	年 夕 経 費 ‡ , 肖	∥減されるは	占 活	動け活落	きでお	り利用者のニ	ーズ また新し	ルンクラ	ラブ											
i	課	題	にも対応する	必要があり	ます			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	7 (0 / 2 1 / 1 0		_											
0	HZIN	. ~ _									,	エチャク	・十 + 立 1	. 亡 `	军兴化道	+ 14 4 - 1	/+°+					
N	改造	革案									7	古剿∪	ノ文抜さ	2日土	理呂指导	を進めてく	1:2	ر، د				
			限られた経費	内で、現在	Eの活	動が維持	きでき	るように対応す	する必要があり	ます												
		·画									-											
		員会 i事項																				

	No. 40 —	8 基本事務事	業名 八帕	番公民館施	設管理事業	事務事	業名 公	民館施設管理	事業	公的関	∮ 6 シ	ノート作成日	平成29年	手6月15日
	部局名	教	育委員:	会	課名	公民	館	主務課長	名	坂東 孝一	- シ	一卜作成者名	長河	頓 和文
	事業区分	① 1 ソフト?	事業	0 3	3 経常的事務	事業	5 補助	金·負担金·支	援 🗼	業運営方法	✓ 1 <u>[</u>	直営	3全	部委託
	争未区万	0 2 N-F	事業	0 4	1 施設の維持	管理	6 内部	管理事務・その	の他 ^{争:}	未理呂刀冮	_ 2 -	一部委託	4 裤	亅
		基本構想(政	<mark>(策)</mark> 1	人が輝くま	ちづくり			実施計画			事業	業の開始∙終了		
	総合計画	基本計画(施	(2)	生涯学習(の充実		()1 該当	平	成 年	• ~ म	F成 年	✓期間	設定なし
		主要施策	(5)	特色ある生	涯学習プログラ	ムの整備・	提供)2 非該当	根	拠法令等	社会教育	育法 阿波市公	民館条例	
		対象(誰を、 何を)	市内住民	1.0							-			
		目的(どういう状態にし	最終的	地域生涯学	学習の拠点として	て、利用者が	が安全で愉	央適に活動でき	るように維	持管理を図り	ります。			
PL		たいのか)	今年度											
AN		具体的にどの	りような活	5動を行い	ますか。(主な	もの5つま	で)							
N		① 公民館貸	出の連絡	S調整事務										
	事業の	② 消防設備	の点検業	務										
	活動内容	③ 浄化槽の	清掃点検	業務										
		④ 公民館の	全館清掃	業務										
		5												
		指標名	各	計算式又	は指標設定理に	由単位		平成 27	年度	平成 28	3 年度	平成 29	年度	最終目標
	数値目標	開館日数		年間359日		日	目標		359		359		359	
	(事業の目的	171 LL 30		—[H]000 H			実績		359		359			
	及び活動内	利用団体数		 阿波踊り体	5操 他17	クラブ数	目標		18		18		18	
	容の達成度 を測る指標)	17731172		P-1//\tem 7 PT	··)* 1617	777 30	美績		13		13	3		
	で 別の日宗/						目標							
	7 M # D	A =11		ήn Λ	\ <u>=</u> 1	1 +1	実績	<u> </u>	-7	_ 111 \ 40	* #			+
	予算費目	会 計	1	一般会			10 教		項	5 社会教		目 3	公民館費	到
		园 庄 士 山		·成 27	1 10 411 101		28	年度決算	平成	29 4	丰度予算	7	備考	
		国庫支出県支出	金		<u> </u>			<u>千円</u> 千円			<u> </u>			
		<u>宗 又 山</u> 地 方			<u>+</u> 			<u> </u>			千円			
D	直接事業費	<u>地 カ</u> その他特定則			<u>_</u> 千			<u> </u>			5 千円			
O		一般財	源		1,607 千			1,230 千円						
		<u>NX 別</u> 計(A)	////		1,607 ÷			1,230 千円			4,646 千円	_		
		正職員工数:	経費 0	000 人	0 f		λ	0 千円			0 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯			·····································		公民館技			公民館指導		_		
		臨時·嘱託工数·		280 人	504 504 千			504 千円			<u>504</u> 千円	3		
		業費(A+B)			2 111 ∓			1 734 壬円			5 150 壬 田			

					ック項目					_	次評価	<u> </u>	_	−次評価0	り説明	月		二次	評価	
		1.	市が実施しな主体があり、						0	少ない	0	大きい		音した施言 とってはな			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	況の中、次年	度以降実施	施する	緊急性が認	!められない。	0	ない	•	ある	い存在で	ぎす。			\circ	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の向	丁上のために、	現在の手段	t、方法	去等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない					\circ	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			隣自治	体と比較し	てニーズを	0	いる	0	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	ミ現するために	、事業内容	が必す	げしも適切と	はいえない。	0	いえなし	,	いえる		ト、クラブの 5発でありす			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ネリ化など、	施策への貢献	献度が	著しく高いと	:はいえない。	0	いえない	γ, Θ	いえる	です。	170 (0) 7 1	1 223 1.	100	0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	施策の中で類	似・重複し	した事	務事業が存	在する。	0	する	•	しない					0	する	•	しない
HUCX		4.	事業の継続を	しても成果の	向上が期行	待でき	ない。		0	できなし	γ <u></u>	できる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	して進捗状況	₹が劣ってし	いると	思う。		0	目標に	比べて針	合っている	年間を通達成は高	じ使用がな	あるの	で目標	0	目標に比ん	べて劣っ	っている
	達	2.	目標設定に対	して成果があ	まり上がっ	ってい	ないと思う	0	0	あまり上	_がってし	ない	上次16月	10, 690			0	あまり上が	っていた	٦L١
	成度	3.	目標設定に対	して概ね目標	を達成し	ている	と思う。		0	概ね達	成してい	งอ					•	概ね達成	している	ڼ
		4.	目標設定に対	して十分に目	標を達成	してい	ると思う。		•	十分達	成してに	る					0	十分達成	している	ś
		1.	効果に比べて	コストが高い	١,				0	高い	0	適当		同じ地域をa 5公民館綜			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	のノウハウギ	新たな制度	度を活	用できる。		0	できる	0	できない	をし、経済	費の節約に	努め	維持管	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係で	、実施手段	没等を	見直す余地	!がある。	0	ある	0	ない	埋をして	おり有効性	よる局	いで	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	:どにより:	コスト	削減の余地	!がある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
						欠評価									次評					
	評值	西点	必要性	有効性 4	達成度		効率性 4	総合評	[価		必要	性	<mark>有効性</mark> 4	達成月	麦	<u> </u>	生	総	合評	西
	今往	を の			•	〇 方	 i法改善	A ○ 民間委詞	托等			 大•充実			\bigcirc	 方法改善	善	○ 民間	_ <u>A</u> 『委託	 :等
Δ		句性	○ 縮小	○ 統合/終			止/休止				縮	1, C	統合/終		Ō	廃止/休	止			
ACT												二岁	で評価での)指摘事項	夏及て	バー次評	価との	の相違点	į	
10		画の	利用者が快適	に利用できる。	ように維持な	管理し [・]	ていきます。						:運営、また	- 、施設の县	長寿台	かんに向い	ナた維	持管理を	を目指	した取
N	と多	革案 実行 画	地域に密着しなす。	た施設であるか	ため統合・網	宿小した	ない限り、現	 状維持が好ま	しいて	ぎ	を進め	うてくださ	ر ،							
		員会 i事項																		

	No. 40 —	9 基本事務事	業名 市均	易公民館1	企画運営	事業	事務事	業名文	化ふれあいる	フォー	ラム	公的関与	8	シート作成日	平成294	年6月15日
	部局名	耈	枚育委員	숲	課	:名	公民	館	主務課長	長名	坂	東孝一	シ	ノート作成者名	長港	頼 和文
	事業区分	① 1 ソフト	事業		3 経常的	勺事務事	業	5 補助	金•負担金•	支援	中来记	営方法	✓ 1	直営	□ 3 슄	≧部委託
	争未达万	O 2 11-15	事業	0	4 施設0	の維持管	理	6 内部	管理事務・そ	の他	事未理	2 呂 刀 法	_ 2	一部委託	4 补	助等
		基本構想(政	(策) 1.	人が輝くま	まちづくり				実施計画				事	業の開始・終了	7	
	総合計画	基本計画(施	策)(2)	生涯学習	の充実			0	1 該当		平成	年	~	平成年	✓期間	設定なし
		主要施策	(5)	特色ある生	主涯学習:	プログラム	の整備・	提供(2 非該当		根拠	法令等	社会教	有法 阿波市公	民館条例	
		対象(誰を、 何を)	市民													
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	文化活動	を通して、	、明るいま	きちづくりに	貢献しま	ます 。							
PL		たいのか)	今年度	住民が交	流し、文化	比を深め心) 豊かな丿	しづくりの)機会を提供し	ます。	o.					
AN		具体的にどの					の5つま	で)								
N		① 講師を招														
	事業の	② 受講生募				等を利用										
	活動内容	③ 材料費は	、受講生	が全額負担	担											
		4														
		5														
		指標名	各	計算式又	な指標語	设定理由	単位		平成 2	7 年	度	平成 28		平成 29		最終目標
	数値目標	参加者数		20回×20) Y		人	目標					40		400	
	(事業の目的	2 % L L X		200 20				実績					32	20		
	及び活動内							目標								
	容の達成度 を測る指標)							実績								
	で 別の出法/							目標								
	- +	A -11			A = 1			実績				111 4 40 -			I = A+-	
	予算費目	会 計	- I -	一般				10 教				社会教			公民館	E
				·成 2 ⁻	/ 华	度決算	平成	28	年度決算	_	平成 2	29 年	度予算		備考	
		国庫支出				千円			千!				千l			
		県 支 出	金			千円			千!				千l			
	直接事業費	地 方 その他特定原	債			千円			千!	_			于I			
DO						<u>千円</u> 千円			千! 千!	_			千1			
		<u>一般財</u> 計(A)	源			十円 0 千円			0 +1				千I 0 千I			
		正職員工数:	終費 ∩	.000 人		0 千円 0 千円	0.000	, I	0 +1		0.000 人		0 千I			
	人件費(B)	臨時·嘱託耶			館指導員			へ 公民館		1 0		館指導員				
	八斤貝(口)	臨時·嘱託工数·		000 人	四川守兵	₹ <mark>0</mark> 千円		人	180 千	π О	0.100 人		₹ <mark>180</mark>	П		
	全体事	業費(A+B)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			0 千円		//	180 ±1	_	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		180 ∓ı			

					ック項目					·/ -	,=\\\\ \			かがほる	=			— /	=亚/莊	
		1	士が中歩! +	ナェ にくても、公平		ルナ よミエ	本月 ベキフダ	一			評価			次評価の		/n +			評価	
	,			事業を廃止・					O 4	ない	大	きい	図る面か	Jの交流の ら必要性に			0	少ない	大京	きい
	必要	2.	厳しい財政状	代況の中、次年	F度以降実	施する	る緊急性が認	められない。	_ t	il1	あ	る	ます。				0	ない	ある	
	性			句上のために、					O å	る	で	い					\circ	ある	あない	۸.
)低下がみられ ごスとなってし		隣自河	台体と比較し	,てニーズを) ı	る	• W	ない					0	いる	• 11t	٦L١
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	容が必	ずしも適切と	はいえない。) ı	えない	● い	える		、達にこの事 と技講習会			0	いえない	● いき	t 3
	有効	2.	事業内容のマン	ノネリ化など、	施策への貢	献度が	が著しく高いと	こはいえない。) ı	えない	● い	える		有効性は高			0	いえない	● いき	ta
G	姓	3.	市が実施する	施策の中で類	頁似・重複	した	事務事業が存	在する。	ं वृ	る	● U:	ない	1				0	する	● した	ζl\
HECK		4.	事業の継続を	しても成果の	O向上が期	待でき	きない。		0 7	きない	で	きる					\bigcirc	できない	● でき	€ る
CK		1.	目標設定に対	けして進捗状況	ぴ劣って	いると	<u>と思う。</u>		O E	標に比	べて劣って	こいる		人達の輪7 望も多く、-			0	目標に比っ	べて劣って	いる
	達	2.	目標設定に対	して成果があ	あまり上が	ってし	ハないと思う	0	() to	まり上か	「っていなし	,١	ています		刀连凡	500		あまり上が	っていない	
	成度	3.	目標設定に対	せんて概ね目標	票を達成し	ている	ると思う。		〇 根	ね達成	している		1				O :	概ね達成	している	
		4.	目標設定に対	けして十分に目	目標を達成	してに	ハると思う。		• +	·分達成	している							十分達成	している	
		1.	効果に比べて	コストが高い	١,					₹l\	適	i当		ら見ても参			0	高い	● 適	当
	効	2.	他の実施主体	のノウハウャ	b新たな制	度を流	舌用できる。		0 7	きる	で	きない	性は高い		± € 80 %	划平	•	できる	<u></u> ਾਂ ਵੇ	きない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手	段等る	を見直す余地	がある。	O å	iる	な	い					0	ある	なし	,1
		4.	電子化や契約	方法の変更な	ょどにより	コス	ト削減の余地	がある。	O å	る	な	い					0	ある	● なし	,1
	'				—	次評值	西		•		•		•	二岁	マ評価					
	11年	五点	必要性	有効性	達成度	支	効率性	総合評	[価	Į.	必要性	7	有効性	達成度		効率性	生	総	合評価	
			4	4	4		4	Α			4		4	3		3			Α	
		後の	○ 拡大・充				方法改善	〇 民間委託	托等	0	拡大・	<u> </u>	● 現状			去改割			『委託等	
A	方向	句性	○ 縮小	○ 統合/終	期設定		廃止/休止			0	縮小	\bigcirc	統合/終		<u> </u>	止/休				
A C T												二次	評価での	指摘事項	及び一	·次評	価との	り相違点	į	
Т	ᅶᇐ	ന	事業がマンネ	リ化しないよう		容をエ	夫し地域に密	図着した事業の 図書した事業の	展開と	j.										
	課			こ努めていきた	いです。															
0					<u>-</u> いです。					江玉	もの土垣	i L 🖒 🛨	- 军兴北道	ナルムナノ	-> +1 \					
0	課	題	るような企画に	こ努めていきた		mz 1					か支援	と自主	運営指導	を進めてく	ださい。					
O N	課改革と実	題 案	るような企画! 市民と行政が	こ努めていきた (一体化を図り	、幅広い分				容を充		か支援	と自主	運営指導	を進めてく	ださい。					
O N	課 改革	題 案	るような企画! 市民と行政が	こ努めていきた	、幅広い分]容を充		かの支援	と自主	運営指導	を進めてく	ださい。					

	No. 40 —	10 基本事務事	業名 市均	易公民館企	画運営事業	事務	事業名	押し花アート教	文室		公的関与	8 シ	ート作成日	平成29年	F6月15日
	部局名	耈	育委員	会	課名	公	民館	主務課	長名	坂	東 孝一	シー	-ト作成者名	長涛	頓 和文
	事業区分	① 1 ソフト?	事業	O 3	経常的事務	务事業	○ 5 補	助金·負担金	∙支援	中米定	営方法	√ 1 直	営	□ 3 全	部委託
	争未达万	○ 2 ハード	事業	0 4	施設の維持	持管理	○ 6内	部管理事務•	その他	力 争未理	:呂刀法	2 -	·部委託	4 補	助等
		基本構想(政	(策) 1.	人が輝くまっ	ちづくり			実施計画	画			事業	の開始・終了	,	
	総合計画	基本計画(施	(2)	生涯学習(の充実			● 1 該当		平成	年	~ 平.	成年	✓期間	設定なし
		主要施策	(5)	特色ある生	涯学習プログ	うムの整備	備∙提供	○ 2 非該当		根拠流	去令等 🗼	t会教育	法 阿波市公	民館条例	
		対象(誰を、 何を)	市民												
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	押し花アー	トを通して、住	主民の交流	と心豊か	な人づくりの機	会を提	畳供し、ふれ	あいを深め	ていきま	す。		
PL		たいのか)	今年度	ガーデニン	グ教室に変わ	つり、押し花	とアートを [・]	するので新鮮呀	まあふ れ	れる心豊か	な人づくりの	機会を打	是供し、ふれあ	いを深め	ていきます。
AN		具体的にどの				なもの5つ	まで)								
N		① 講師を招													
	事業の	② 受講生募				利用									
	活動内容	③ 材料費は	、受講生	が全額負担											
		4													
		5													
		指標名	各	計算式又	は指標設定理	里由 単位		平成	27 年		平成 28 年		平成 29		最終目標
	数値目標	参加者数		6回×15人		人	目			60		60		90	
	(事業の目的			о <u>п</u> јоу (美			57		0			
	及び活動内						目標								
	容の達成度 を測る指標)						実								
	と (大) の (日 (木)						目								
	7 体 井 口	A =11		án A	. = 1		実			- - -	<u> </u>	<u></u>			±-
	予算費目	会 計	ि च	一般会			款 10		<u> </u>		社会教育		目 3	公民館費	₹
				成 27	年度決		戊 28		_	平成 2	19 年度	手 予算		備考	
		国庫支出県支出				千円			f円			千円			
			金 債			千円 千円			F円 F円			千円 千円			
D	直接事業費	地 方 その他特定則				千円			門			千円			
O		一般財	源		30 =				門			30 千円			
		一 放 知 計(A)	//示		30 =				円			30 千円 30 千円			
		正職員工数:	経費 0	000 人	0 -		00 人	0 =		0.000 人		0 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	7 7 0.00		·····································	1.7		館指導員	0 111			
	八门夏(四)	臨時·嘱託工数·		450 人	810 -	千円 0.3		630 =	-円 (0.350 人		30 千円			
	全体事	業費(A+B)			840 =		/\		FET .			30 千円			

				エ-	ニック項目						- '∕ ⊅ =\\	/ 邢			-次評価 <i>σ</i>	\≣∺ □	IA .		二次	· 言示 /⊐	
		П	市が実施しな			ルナン	ではできてな	一种 中			-次評										
	. .	١.	中か美施しな 主体があり、						0	少なし	, () 大きし	۱,	りの交流	、や地域づ の場の確(呆を国	図る面か		少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	思められない。	0	ない	0	ある		ら必要性 	は高まって	こいま	ぎす。	0	ない	•	ある
	性		住民満足度の向						0	ある	C	ない						0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			隣自	治体と比較し	ノてニーズを 	0	いる	•	いなし	۸,					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	実現するために	二、事業内容	容が必	必ずしも適切と	:はいえない。	0	いえな	:11	いえる	3		、達にこのこし、実技記			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	とはいえない。	0	いえな	:U (いえる	3	も充実で	あり有効性			0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	施策の中で数	頭似・重複	した	:事務事業が存	存在する。	0	する	0	しなし	,1	す。				0	する	•	しない
HECK		4.	事業の継続を	しても成果の	D向上が期	待で	きない。		0	できな	:11) できる	3					0	できない	0	できる
CK		1.	目標設定に対	して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標は	比べて	劣ってい	る)人達の輪 多く、十分			0	目標に比	べて劣	っている
	達出	2.	目標設定に対	して成果があ	あまり上が	って	いないと思う	; 。	0	あまり.	上がって	いない		ます。	3 1、171	廷队	, (0	あまり上か	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	して概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		0	概ね遺	達成して	いる						•	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対	して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		•	十分道	達成して	いる						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	, \ ₀				0	高い	0	適当			ら見ても参送を記述しません。			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	のノウハウヤ	か新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0	できた	ほい	性は高い		,_	05 7793 1	•	できる	0	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	心がある 。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	よどにより	コス	ト削減の余地	心がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
					— <u>;</u>	次評	価								_;	欠評	価				
	証布	三点	必要性	有効性	達成原	歼	効率性	総合評	严価		必要	性	存	有効性	達成度	F	効率	生	総	合評	価
			4	4	4		4	A			4			4	3		3			<u> A</u>	
		後の	○拡大・充				方法改善	〇 民間委	託等			大 充		● 現状			方法改善		〇 民間]委	七等
A	万川	句性	○ 縮小	○ 統合/総	期設定	0	廃止/休止				縮	_	<u>O</u>	統合/終			<u>廃止/休</u>			_	
ACT													二次	評価での	指摘事項	及で	ゾー次評	価と	の相違点	ā	
	当回	面の	事業内容をエ	夫し地域に密	着した事業	(の居	展開となるような	な企画に努めて	ていき	た											
	課	題	いです。																		
0											舌動の	支援と	白主	運堂指道	を進めてく	ださい					
N		本案								ľ	L 20 07			Æ 🗆 10 🕶	C.Z	,	0				
			新しい時代にて	マッチした事業	美内容の充.	実に	努めていきます	す。													
	計	画																			
		員会 事項																			

	No. 40 —	11 基本事務事	業名 市均	易公民館生	活文化振興事業	事務事第	業名 各	種団体の育成	Ì	公的関·	与 9 シ	ノート作成日 📑	平成29年	E6月15日
	部局名	教	枚育委員	会	課名	公民館	馆	主務課長	:名	坂東 孝-	- シ-	ート作成者名	長涛	頁 和文
	事業区分	① 1 ソフト	事業		3 経常的事務事	業	5 補助	金・負担金・3	5援 📗 귤	業運営方法	1 📗	直営	3 全	:部委託
	争未应力	O 2 11-15	事業		4 施設の維持管	管理 〇	6 内部	管理事務・そ	の他	未理呂刀冱	_ 2 -	一部委託	✓ 4補	助等
		基本構想(政	(策) 1.	人が輝くま	きちづくり			実施計画			事業	美の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	(2)生涯学習	の充実		0	1 該当	平	成 ^生	₣~ 平	^Z 成 年	✓ 期間	設定なし
		主要施策	(6))関係団体	の育成		C	2 非該当	村	视法令等	社会教育	育法 阿波市公民	已館条例	
		対象(誰を、 何を)	市内住身	民(一定区域	域内)									
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	市民の教	養の向上、生活文	て化の振興	、健康増	進、社会福祉の	の向上のた	めの自主活	動ができる	補助をします。		
PL		たいのか)	今年度											
A		具体的にどの	のようなえ	活動を行い	ヘますか。(主なキ	もの5つま	で)							
N		① 老人クラ	ブ育成事	業										
	事業の	② 各種講座												
	活動内容	③ スポーツ	活動事業	(ゲートボ-	ール・グラウンドゴ	ルフ・デイス	スコン)							
		4												
		5												
		指標名	各	計算式又	(は指標設定理由	単位		平成 27	年度	平成 2	8 年度	平成 29 :		最終目標
	数値目標	老人クラブ参加者	台 数	15回×20	ΩÅ	人	目標		300		300		300	
	(事業の目的						実績		280		285			
	及び活動内	婦人会参加者数		3回×10	人、 1回×30人	人	目標		60		60		60	
	容の達成度 を測る指標)					, ,	実績		40		48			
		各種講座参加者	数	9団体×3	30人	人	目標実績		270 250		270 250		270	
	予算費目	会 計		一般:	스=1	款	10 教	<u></u> 玄弗		5 社会教			公尺的建	=
	了异貝口	本 引	<u> </u>	7成 2		平成	10 字X 28	年度決算			年度予算		備考	Į
		国庫支出		<u>八</u> 2	<u> </u>		20	<u> </u>		20 -	<u>千尺 </u>			
		県支出	金			_					千円			
		<u>ホ ス </u>	債								千円			
D	直接事業費	その他特定則			千円				+		千円			
0		一般財	源		150 ∓₽			140 千円]		160 千円			
		計(A)			150	3		140 千円	1		160 千円	il .		
		正職員工数·	経費 0	.000 人	0 千円	0.000	人	0 千円	0.000	人	0 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯	銭種	公民	館指導員		公民館	指導員		公民館指導	員	1		
		臨時·嘱託工数·	·経費 0	.430 人	774 千円	0.430	人	774 千円	0.430	人	774 千円			
	全体事業	業費(A+B)			924	3		914 千円			934 千円			

				_	· 5 ==	_					>/	π		>/	. ⊕ =⊬	00		- ,,	= T. / TE	
			+ 18+1+ 1		エック項		ミカルーナラヤ				·次評	Ш		一次評価				次	評価	
		1.					が確保できる等 影響は大きくな		0	少ない	,	大きい	点として	くり、生活: て、主体的	•自習	的に参加	0	少ない	• 7	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、グ	《年度以降	実施す	よる緊急性が認	図められない。	0	ない	0	ある		できる事業 るニーズに			0	ない	• d	ある
	性						方法等の改善の		0	ある	•	ない	高いで	す。	איי נייויא	7 × 11 16	0	ある	• #	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサーb			近隣自	自治体と比較し	ノてニーズを 	0	いる	0	いない					0	いる	• u	いない
		1.	施策の目的を	実現するため	に、事業	内容が	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	ربا (いえる		体がマンス の企画を				いえない	• ı	ハえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化など	、施策への	貢献度	₹が著しく高いと	とはいえない。	0	いえな	い	いえる	高いで		m 19J C	只删/汉16		いえない	• u	ハえる
C	性	3.	市が実施する	6施策の中で	:類似・重	複した	と事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない					0	する	ι	しない
HECK		4.	事業の継続を	としても成界	の向上が	期待で	できない。		0	できな	ı، 💿	できる					0	できない	• 7	できる
C		1.	目標設定に対	付して進捗が	だ況が劣っ	ている	ると思う。		0	目標に	比べて会	劣っている		民の輪がも増えてお			0	目標に比	べて劣っ	ている
	達世	2.	目標設定に対	付して成果が	があまり上	がって	ていないと思う	5 。	0	あまり」	上がって เ	いない	でいまっていま		לו פנ	り建成い	0	あまり上が	っていな	: L \
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目	標を達成	してし	いると思う。		0	概ね達	成してに	いる					•	概ね達成	している	
		4.	目標設定に対	付して十分に	目標を達	成して	ていると思う。		•	十分适	を成してい	いる					0	十分達成	している	
		1.	効果に比べて	こコストが高	らい。				0	高い	0	適当		容も活発で			0	高い	O i	<u></u> 適当
	効率	2.	他の実施主体	*のノウハウ	や新たな	制度を	上活用できる。		0	できる	•	できな		//+6\/□:	in C	0.000	0	できる	O 7	できない
	性	3.	予算・人員と	∶成果の関係	で、実施	手段等	ệを見直す余 地	也がある。	0	ある	0	ない					•	ある	O #	はい
		4.	電子化や契約	内方法の変更	[などによ	りコス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	0	ない					0	ある	• #	はい
						一次評	平価							_	二次評	価				
	電車右	西点	必要性	有効性	達用	は 度	効率性	総合評	平価		必要	性	有効性	達成	度	効率	生	総	合評值	5 5
			4	4			4	Α			4		4	3		3			Α	
		後の	○ 拡大・充)	1状維持	0	7 7 7 7 7 7	〇 民間委託	託等			大·充身)	状維持	\bigcirc	方法改善		○ 民間]委託	等
A	方向	句性	○ 縮小	│○ 統合/	終期設定	: O	廃止/休止			(○ 縮	_		終期設定	_	廃止/休				
ACT												=	次評価で	の指摘事	項及	び一次評	価と	の相違点	Ī.	
T	当同	面の	活動は活溌で	であり利用者	のニーズギ	高まっ	っている中、充乳	実度を高めつつ	つ各種	団										
I	課	題	体が自立した	:活動ができ	るように向	けてい	く必要がありま	きす。												
0										2 =	チ動の ラ	古揺とら	主運営指	道た准めっ	ンださ	1.				
N		革案	7日こわナ-奴隶	that Have	2.日命にの	≘⊞ ≢∕r ⊀	と図りながら現る	ナの江動が鉄	セッキ		コヨリソノノ	又]友CE	工医舌田	守で近めた	. \/_C	· · · o				
		【行	限られに程賃			調金で	r凶りなから現1	住の治動が能	け C C	ି ବ										
	計	画	5.71=7.17b.O	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<i>-</i> ,, .															
		員会 i事項																		

	No. 40 —	12 基本事務事	業名市場	易公民館加	施設管理事業	事務事	業名公	民館施設管理	事業	公的関与	9 6 シ	/一ト作成日	平成29年	手6月15日
	部局名	教	育委員:	会	課名	公民:	館	主務課長	名	坂東 孝一	・ シー	ート作成者名		頓 和文
	事業区分	① 1 ソフト?	事業		3 経常的事務	事業	5 補助	金•負担金•支	援 📗 🕳	業運営方法	√ 1 [直営	3 全	部委託
	争未区万	○ 2 ハード	事業	0	4 施設の維持領	管理 〇	6 内部	管理事務・その	の他 ^{争:}	未理呂刀法	_ 2 -	−部委託	4 補	亅
		基本構想(政	<mark>(策)</mark> 1	人が輝くる	まちづくり			実施計画			事業	€の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	<mark>策)</mark> (2)	生涯学習	の充実		()1 該当	平	成年	: ~ 平	·成 年	✓期間	設定なし
		主要施策	(2)	生涯学習	関連施設の整備	充実・機能	強化 ()2 非該当	根	拠法令等	社会教育	育法 阿波市公	民館条例	
		対象(誰を、 何を)	市内住民	7					•					
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	地域生涯	学習の拠点として	て、利用者が	が安全で	快適に活動でき	るように維	持管理を図り	ります。			
PL		たいのか)	今年度											
AN		具体的にどの	りような活	舌動を行し	ヽますか。(主な	もの5つま	で)							
N		① 公民館貸	出の連絡	S調整事務	i									
	事業の	② 電気の業	務											
	活動内容	③ 消防施設	の点検業	終										
		④ 浄化槽の	清掃点検	業務										
		⑤ 館内外清	掃業務											
		指標名	Ż	計算式区	ζは指標設定理6	由		平成 27	年度	平成 28	年度	平成 29	年度	最終目標
	数値目標	開館日数		年間359	ı 🗆	日	目標		359		359		359	
	(事業の目的			十月000	, н 	Н	実績		359		359			
	及び活動内	利用者団体数		生花クラス	ブ他6	クラブ数	目標		10		10		10	
	容の達成度 を測る指標)	7,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		±10777		77730	美績		7		7			
	で 別の日宗/						目標							
	- m	A -11		<u> </u>	A = I		実績	<u> </u>	I	_ 111 A 40				
	予算費目	会 計			会計 - <u>누구노</u> #		10 教		項	5 社会教		目 3	公民館費	T
				.成 2			28	年度決算	平成	29 £	F度予算		備考	
		国庫支出			千!			千円			千円	_		
			金		千1			千円			千円	_		
D	直接事業費	地 方 その他特定則	債		于! 于!			千円			千円 5 千円	4		
0		一般財	源源					千円 417 千円			449 千円	-		
		NX	//示		568 ±1			417 千円 417 千円			454 千円			
		正職員工数:	経費 0	000 人	0 f		,	0 千円	0.000	1	0 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		, ,	館指導員		公民館			公民館指導		ł		
		臨時·嘱託工数·		250 人	品刊等兵 450 千Ⅰ			450 千円		人	更 <mark>450</mark> 千円	-		
		業費(A+B)			1.018 ±		/\	867 千円			904 千円			

			チェック項目		一次	評価	_	-次評価の説	明	二次	:評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少加		大きい		学習会・発表会)施設として提(○ 少ない	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	() ない	1	ある		も多く必要性は		○ ない	ある
	要性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	,)	● ない	9 .			<u></u>	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	○ เงส)	● いない				○ เงื	いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ <i>い</i> え	ない	● いえる		ブ等の利用が ているため有効		○ いえない	● いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ <i>い</i> え	ない	● いえる	いです、	、ているため行う	が正は同	○ いえない	● いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<u></u> ਰਫ	5	● しない				する	● しない
CHECK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ でき	ない	● できる				() できない	● できる
K		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○目標	票に比/	べて劣っている		ト団体の会議等 トクラブの活動I		○ 目標に比	べて劣っている
	達成	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	あま	り上が	っていない		kアファの冶動i を成されていま ⁻		○ あまり上が	っていない
	度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	〇 概ね	達成	している				● 概ね達成	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	+5	}達成	している				○ 十分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い。	○高は	۱,	● 適当		宗合補償契約を さと一括契約す		○ 高い	● 適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ でき	3	● できない	割安に加	1入したり、経費	の削減	○ できる	● できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<u></u>		● ない	理されて	ことにより効率 います。	・的に官	ある	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<u></u>	,	● ない				<u></u>	● ない
			一次評価					二次評	-		
	評価	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	価	业	必要性	有効性	達成度		生総	合評価
	全征	を の	4	任等	\bigcirc	_ _4 拡大∙充実	•	│ 3 犬維持	4 方法改善	● ○ 民間	_A 引委託等
Λ		句性)	縮小(_	廃止/休		
\overline{c}						Ξ	次評価での)指摘事項及7	ゾー次評	価との相違点	Ī
Ť			利用者が安全・快適に活用できるように、備品等が古くなっているので整	備が必							
ACT-0	課	:趄	要です。		Δ TE	나 사 ㅠ 사	か字学 ナナ	佐乳の目生	会ルルーウェ	ユ <i>ナ 4</i> # +± <i>左</i> = T田 =	+ O + E + E
N	みさ	革案				!的・効率的。 進めてくださ		:、施設の長寿	前化に同じ	丁に維持官埋る	と日指した戦
	وع	€行	管理運営上、施設内外の改善の必要があります。				-				
	計	画									
		員会 i事項									

	No. 40 —	13 基本事務事	業名 大信	吴公民館1	企画運営事業	事務事業	名自然			公的関	与 8 シ	/一ト作成日	平成29年	₹6月15日
	部局名	孝	收育委員	숲	課名	公民館	?	主務課長	名	坂東 孝-	- シ-	ート作成者名		頓 和文
	事業区分	① 1 ソフト	事業		3 経常的事務事	業	5 補助金	金·負担金·支	援 ェ	業運営方法	_	直営	3 全	部委託
	争未应力	O 2 11-1	事業		4 施設の維持管	理 () (3 内部領	管理事務・その)他	未理呂刀沼	2 -	−部委託	4 神	亅
		基本構想(政	(策) 1.	人が輝くま	まちづくり			実施計画			事業	€の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施		生涯学習	『の充実		O	1 該当	平	成 d	₹ ~ 平	^Z 成 年	✓期間	設定なし
		主要施策	(5)	特色ある生	主涯学習プログラム	ムの整備∙提	供	2 非該当	根	!拠法令等	社会教育	育法 阿波市公	民館条例	
		対象(誰を、 何を)	市内小学	学生∙保護₹	者									
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	親子で自 図ります。	然にふれあい、自	然の中で発	見や感動	動をかんじても	らい、観察	会を通じ自	然を大切に [・]	する心を養うこん	とで自然環	環境の保全を
PL		たいのか)	今年度											
AN		具体的にどの	のようなえ	舌動を行し	ヽますか。(主なも	5の5つまで	<u>(5)</u>							
N		① 4月に各	小学校に	会員募集(の用紙を配布し募	集を行います	す。							
	事業の	② 親子で参	加する事	業です。(<i>*</i>	休日に開催)									
	活動内容	\sim			見察をしています。	_								
		_	回は、バ	スを借り上	げて(剣山の動植	物・海辺の植	物、生き	き物)観察会も	実施してい	ます。				
		⑤												
		指標準	名 <u> </u>	計算式又	なは指標設定理由	単位		平成 27		平成 2	8 年度	平成 29		最終目標
	数値目標	自然観察会参加	数	40人×6	6 0	人	目標		240		240		240	
	(事業の目的						実績		144		223			
	及び活動内 容の達成度						目標							
	を測る指標)						実績							
							目標 実績							
	予算費目	会 計		— ф.D.	会計	当行	天 碩 10 教育	<u> </u> 	項	5 社会教	b	日 2	公民館費	
	了开具口	ДП	耳	·····································		平成	28	年度決算	平成		年度予算 年度予算		備考	₹
		国庫支出		,,, <u>_</u>	<u>・ 「及の昇</u> 千円			千円	1 /24		<u> </u>		υ	
		県支出				_		千円			千円	-		
		地方	債		千円			千円			千円	_		
D	直接事業費	その他特定	財源		千円	3		3 千円			千円			
0		一 般 財	源		125 千円	3		144 千円			173 千円			
		計(A)			125 千円	3		147 千円			173 千円			
		正職員工数:		.000 人	0 千円		•	0 千円	0.000		0 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託耶			館指導員		、民館指			公民館指導				
		臨時·嘱託工数·	·経費 0.	.330 人	594 千円		人	594 千円	0.330	人	594 千円			
	全体事業	業費(A+B)			719 ∓₽	3		741 千円			767 千円			

				7	いわでロ						her in			かがほの	X 00		— ·/-	, = \u03c4 / \u03c4
		-	18 		ツク項目	L 18Tm /D -	- + 7 55	/L 0 11-1-			次評価			-次評価の				評価
		1.	市が実施しなり、						0	少ない	0	大きい	を大切に	ろから自然 する心を養	うことで		○ 少ない	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況	兄の中、次年	F度以降実施	施する緊急	急性が認	められない。	0	ない	•	ある		「に役立って 然あふれる		1	○ ない	ある
	性		住民満足度の向						0	ある	0	ない		できていま		ı	○ ある	● ない
		4.	住民ニーズの仕上回るサービス			端自治体と 	と比較し	てニーズを	0	いる	•	いない					() เงื	いない
		1.	施策の目的を実	現するために	二、事業内容	が必ずしも	も適切と	はいえない。	0	いえなし	, •	いえる		おいては、 されて、意識			○ いえない	● いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ネリ化など、	施策への貢献	忧度が著し	く高いと	はいえない。	0	いえなし	,	いえる	きていま		×4×+13 (○ いえない	● いえる
C	性	3.	市が実施するが	施策の中で類	頁似・重複し	した事務事	事業が存	在する。	0	する	•	しない				1	○ する	● しない
HECK		4.	事業の継続を	しても成果の	D向上が期待	寺できなし	, \ ₀		0	できなし	,	できる					○ できない	● できる
CK		1.	目標設定に対し	して進捗状況	兄が劣ってし	いると思う	5 。		0	目標に	北べて劣・	っている		多く、親子で			● 目標に比べ	べて劣っている
	達世	2.	目標設定に対し	して成果があ	あまり上がっ	っていなし	いと思う	0	0	あまり上	がっていた	ない	ため活動	目的は、達			う あまり上が	っていない
	成度	3.	目標設定に対し	して概ね目標	票を達成して	こいると思	思う。		0	概ね達	成している	3	ます。			(● 概ね達成	している
		4.	目標設定に対し	して十分に目	目標を達成し	していると	と思う。		•	十分達	成している	3				(十分達成	している
	効率	1.	効果に比べて	コストが高し	N _o				0	高い	0	適当		を通じ自然もつことで、			○ 高い	● 適当
		2.	他の実施主体の	のノウハウヤ	か新たな制度	度を活用で	できる。		0	できる	0	できない		いものがあり		"	● できる	○ できない
	性	3.	予算・人員と	ず果の関係で	で、実施手具	设等を見直	直す余地	がある。	0	ある	•	ない					○ ある	● ない
		4.	電子化や契約ス	方法の変更な	ょどにより=	コスト削洞	域の余地	がある。	0	ある	0	ない					○ ある	● ない
					一次	マ評価								二次	:評価			
	≕√	正点	必要性	有効性	達成度	効	率性	総合詞	平価		必要性	į ;	有効性	達成度	効	率性	総	合評価
			4	4	4		4	A			4		4	3		3		Α
		多の	○ 拡大 充乳			○ 方法□		〇 民間委	託等			: 充実	● 現物) 方法			引委託等 ———
A	万川	句性	○縮小	○ 統合/終	《期設定	○ 廃止/	/休止)縮小	\sim	統合/終		<u> 廃止/</u>	• •		
CT												二次	(評価での)指摘事項。	及び一次	評価	Tとの相違点	<u>ā</u>
T	当回	面の	予算削減のなれ	かでどのよう	こ効率よく計	画を立て	活動して	いくか考える	必要な	バあ								
	課	題	ります。															
0																		が自然環境に
N		革案								対	して認証	哉や興味	を持っても	ららい、いかり	こ継続して	て活動	動してもらえる	が重要です。
			参加者に人気が	があるものを	計画している	ます。												
	計	·画																
		員会 i事項																

部局名 教育委員会 課名 公民館 主務課長名 坂東 孝一 シート作成者名 長瀬 和文 上版 1 1 1 1 1 1 1 1 1		No. 40 —	14 基本事務事	業名 大傷	是公民館生	活文化振興事業	事務事簿	業名 各	種団体の育成		公的関	9 シ	一卜作成日 平成2	9年6月15日
2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		部局名	教	育委員	会	課名	公民館	馆	主務課長	名	坂東 孝一	シー		
A 作品の報告言音 A 作品の書意 A		車業区分	1 ソフト事	業						<u> </u>	* 温学 古 注			
総合計画 基本計画(施策) (2)生涯学習の充実 ● 1 該当 平成 年 ~ 平成 年 / 期間設定なしま要施策 (5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供 ○ 2 非該当 根拠法令等 社会教育法 阿波市公民館条例 対象(能を、何を) 表検的 大俣区域内住民) 表検的 大俣区域内住民) 表検的 大俣区域内住民) 本来の 大俣区域内住民 大俣区域内民		争未区力					理	6 内部		D他 ^ザ	未连舌刀丛			補助等
主要施策 (5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供 2 非該当 根拠法令等 社会教育法 阿波市公民館条例 対象(確を、向と) お内(大俣区域内住民) 目的(どうい う状) 日的(どうい う状) 日か(どうい う状) 日か(どうい うな) 日か(どうい うな) 日か(どうい うな) 日か(どうい うな) 日か(とうな) 日か(とのような活動を行いますか。(主なもの5つまで) 日本人クラブ(奉仕活動・スポーツ活動) 日本人クラブ(奉仕活動・スポーツ活動) 日本人クラブ(泰仕活動・スポーツ活動) 日本人の300 日本人の300 日本人の300 日本人の300 日本人の300 日本人の400 日本														
おり		総合計画												
The proof of t				(5)	特色ある生	Ξ涯学習プログラム	の整備・排	是供 🗌)2 非該当	村	视法令等	社会教育	法 阿波市公民館条	列
対象・目的				市内(大	俣区域内住	E民)								
たいのか 今年度		划象 日的		最終的	各種の学	習を通じ、文化向」	-を目指し	.生活向」	上ができるよ う 取	切組みを	図ります。			
事業の ② 婦人会(防災副縁への参加) ③ 各種講座(舞踊・詩吟・生花・カラオケ・大正琴・読書会) ④ ③ ⑤ ⑤ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥	L		たいのか)											
事業の ② 婦人会(防災副縁への参加) ③ 各種講座(舞踊・詩吟・生花・カラオケ・大正琴・読書会) ④ ③ ⑤ ⑤ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥	A						の5つま	で)						
活動内容 3 各種講座(舞踊・詩吟・生花・カラオケ・大正琴・読書会) 4 (5	N					・ツ活動)								
### 1			0											
指標名 計算式又は指標設定理由 単位 平成 27 年度 平成 28 年度 平成 29 年度 最終目標 表 4 2 4 5 2 5 2 9 年度 最終目標 表 4 2 5 2 9 年度 最終目標 表 4 2 5 2 9 4 2 9 4 2 9 4 2 9 4 2 9 8 2 9 8 2 9 9 2 9 9 2 9 9 2 9 9 9 9		活動内容)	(舞踊・詩	持吟∙生花∙∶	カラオケ・大正琴・詞	売書会)							
指標名 計算式又は指標設定理由 単位														
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度を測る指標)			Š			, , , , te m = 0 -te = m 1	252 71		T	<i>b-</i>		5 - 5	7.4 / .	
大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学			指標名	1	計算式又	は指標設定埋田	甲位		半成 27		平成 28			
及び活動内容の達成度を測る指標) 場付入会参加者数 200人×1回 人			老人クラブ参加者数	数	20人×3	O 	人						60	00
Page												L	20	00
を測る指標) 8団体×12人×12回 人 目標 1200 1200 1200 1200 1200 1200 1200 120			婦人会参加者数		200人×	1回	人							70
Page		を測る指標)											120	00
Page			各種講座参加者数	Ĭ	8団体×1 	2人×12回	人							
直接事業費 国庫支出金 千円 40 千円 千円 千円 1 千円 40 千円 千円 1 千円 1 千円 1 <t< th=""><th></th><th>予算費目</th><th>会計</th><th></th><th>一般:</th><th>会計</th><th>款</th><th>10 教</th><th>育費</th><th>項</th><th>5 社会教</th><th>育費</th><th>目 3 公民館</th><th>官費</th></t<>		予算費目	会計		一般:	会計	款	10 教	育費	項	5 社会教	育費	目 3 公民館	官費
Labe 千円 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				平	成 27	7 年度決算	平成	28	年度決算	平成	29 4	F度予算	備考	•
直接事業費 地方債 千円 40 千円 千円 1日 千円 1日						千円			千円			千円		
C の他特定財源 千円 千円 千円 千円 千円 千円 一般財源 30 千円 35 千円 40 千円 古職員工数·経費 0.000 人 0.0000 人 0.0000 人 0.00														
COD他特定財源 千円 40 千円 十円 計(A) 千円 30 千円 35 千円 40 千円 40 千円 千円 1円		直接事業費												
計(A) 30 千円 35 千円 40 千円 正職員工数·経費 0.000 人 0 千円 0.000 人 0 千円 0.000 人 0 千円 0.000 人 0 千円 0.000 人 人件費(B) 臨時・嘱託職種 公民館指導員 公民館指導員 公民館指導員 臨時・嘱託工数・経費 0.310 人 558 千円 0.310 人 558 千円 0.310 人 558 千円		匹汉于水关												
工職員工数·経費 0.000 人 0.000 人 1円 0.000 人 0.000 人 1円 0.0	U			源										
人件費(B) 臨時·嘱託職種 公民館指導員 公民館指導員 公民館指導員 臨時·嘱託工数·経費 0.310 人 558 千円 0.310 人				▽井 ○	000		0.000							
臨時·嘱託工数·経費 0.310 人 558 千円 0.310 人 558 千円 0.310 人 558 千円		し (井 建 / 豆)												
		人件貧(B)												
全体事業費(A+B) 588 fp 598 fp 593 fp 598 fp		全体事		性貝 0.	310 人	588 千円	0.310	<u> </u>	593 千円		<u> </u>	598 千円		

				ェック項目				— <u>;</u>	欠評価	Б	_	-次評価の説	明		二次	評価
		1.	市が実施しなくても、公主体があり、事業を廃止				0	少ない	•	大きい	地域づく す。	りに欠かせな	い団体で	〇 少	ない	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次	年度以降実施す	する緊急性が認	忍められない。	0	ない	•	ある				ない	l,	ある
	性	3.	住民満足度の向上のために	、現在の手段、	方法等の改善の	O余地がある。	0	ある	0	ない				○ あ	3	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみら 上回るサービスとなって		自治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	•	いない				○ w	3	● いない
		1.	施策の目的を実現するため	に、事業内容が	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえない	,	いえる		♪加できる場別 機会を与えて		() w	えない	● いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など	施策への貢献度	ほが著しく高いと	とはいえない。	0	いえない	,	いえる	0, 60	MAC 172	0 00 7 8	○ w	えない	● いえる
C	性	3.	市が実施する施策の中で	類似・重複した	と事務事業が存	存在する。	0	する	0	しない				<u></u>	3	● しない
HUCX		4.	事業の継続をしても成果	の向上が期待で	できない。		0	できない	•	できる				<u></u> ਾਂ	きない	● できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状	:況が劣っている	ると思う。		0	目標によ	比べて劣	っている		は、毎回好評されています		〇 目 ⁴	標に比/	べて劣っている
	達世	2.	目標設定に対して成果が	あまり上がって	ていないと思う	5.	0	あまり上	がってい	ない	- 1 <i>万 廷 []</i>	(640,60.97)	0	<u>ಿ</u> ಹಕ	ŧり上が [.]	っていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目	標を達成してし	いると思う。		0	概ね達成	或してい	· ි				〇 概	ね達成し	している
		4.	目標設定に対して十分に	目標を達成して	ていると思う。		•	十分達	成してい	る				• +:	分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高	زر،			0	高い	•	適当		は、低いが名 しています。	事業効率	〇 高	l,	● 適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウ	や新たな制度を	を活用できる。		0	できる	•	できない	5 (E) +A(○ で	きる	● できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係	で、実施手段等	ទを見直す余 地	也がある。	0	ある	•	ない				○ ある	3	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更	[などによりコス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	0	ない				○ ある	3	● ない
			_	一次評								二次記		•		
	評值	西点	必要性 有効性	達成度	効率性	総合評	[価		必要(生	有効性 4	達成度	効率'	生	総	合評価
	今後	 发の		 4 B状維持	<u> 4</u> ○方法改善	A C C C C C C C C C	托等			 t・充実		 4 犬維持 ○	4 方法改	善)民間	_ <u>A</u>]委託等
Δ		句性		終期設定 〇							統合/終		廃止/休			
ACT			老人クラブは、高齢化が進	け、中のに歩かる	70歩士での蛇:	田 ム 呂 ナ 雄 伊 I	*'E	Πŧ		二次	(評価での)指摘事項及	びー次評	価との材	相違点	į
0		面の!題	でスクラブは、高齢にが返 図る必要があります。婦人 また、各種講座は利用者の	、会活動では、活	動しやすい場合	の提供をしてい	きます	۲。	插田は	との連集	きなとい 仝	後も参加しや	すい企画に	ま学に 心	がけて	てたさい
N	とヨ	革案 実行 ·画	生涯学習の観点から、地域 る場所づくりを目指します		が展開され、	誰でも気軽にホ	川用で		기포 IZI M		5 C 7 C 7	E C S JIH C (, · · 正 闾 ·	±610°0	<i>13</i> -17 C	. V/2C/0 *0
		員会 事項														

	No. 40 —	15 基本事務事	業名 大信	吴公民館施	設管理事業	事務事	業名【公】	民館施設管理	事業	公的関	与 6 シ	ノート作成日	平成29年	年6月15日
	部局名	教	枚育委員	会	課名	公民:	館	主務課長	名	坂東 孝	- シ	ート作成者名		頼 和文
	事業区分	1 ソフト	事業	3	経常的事務事	業	5 補助	金・負担金・支	援 📗 귤	業運営方法	<u> </u>	直営	3全	≧部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業	O 4	施設の維持管	理	6 内部	管理事務・そ	の他	未理呂刀だ	2 -	一部委託	4 裤	助等
		基本構想(政	(策) 1.	人が輝くます	ちづくり			実施計画			事業	€の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	(2))生涯学習(の充実		C)1 該当	平	成	年 ~ 平	^Z 成 年	✓期間	設定なし
		主要施策	(2)	生涯学習関	連施設の整備剤	定実・機能	強化 🜘)2 非該当	村	拠法令等	社会教育	育法 阿波市公	民館条例	
		対象(誰を、 何を)	市内(大	俣区域内住.	民)									
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	地域生涯学	学習の拠点として	、利用者が	が安全で悟	央適に活動でき	るように維	持管理を図	ります。			
PL		たいのか)			学習の拠点として			央適に活動でき	るように維	持管理を図	ります。(本	村分館の防水	改修工事))
A		具体的にどの	りようなえ	舌動を行いる	ますか。(主なも	の5つま	で)							
N)			5設備・浄化槽の	保守点検	及び清掃)						
	事業の	② 施設運営	(日常の	公民館の貸	し出し業務)									
	活動内容	3												
		4												
		5												
		指標名	各	計算式又は	は指標設定理由	単位		平成 27	年度	平成	28 年度	平成 29	年度	最終目標
	数値目標	開館日数		上 年間日数(全	=末年始を除く)	日日	目標		359		359		359	
	(事業の目的	X - 120 (N)		11616 201	TAK TALEMAN		実績		359		359			
	及び活動内	 利用団体(定期利]用)	クラブ数(7)	数	目標		375		370		370	
	容の達成度 を測る指標)			,			実績		356		350			
	ではいの日本						目標							
	7	A =11		6n A	=1	+4	実績	<u> </u>	I -=	- I±1 A -	/∟ / #		八日 節	*
	予算費目	会 計	1 1	一般会		款			項	5 社会		目 3	公民館費	
		同庄士山		^Z 成 27	年度決算	平成	28	年度決算	平成	29	年度予算		備考	
		国庫支出県支出	金		千円			千円			<u>千円</u> 千円			
		<u>宗 又 山</u> 地 方			千円 千円			<u> </u>			千円			
D	直接事業費	地 力 その他特定則						95 千円			5 千円			
0		一般財	源		2,133			6.820 千円			2,078 千円			
		計(A)	//示		2,150 千円			6,915 千円			2,083 千円			
		正職員工数:	経費 0	.000 人	2,130 11:		λ	0,515 117		人	0 千円	_		
	人件費(B)	臨時·嘱託聯			指導員		公民館技			公民館指導		1		
	, (II) JC (3)	臨時·嘱託工数·		.280 人	504 千円		人	504 千円		人	504 千円	1		
	全休事:	業費(A+B)			2 654 ∓⊞			7 419 壬四			2 587 壬円			

				エ-	こック項目						冷气	.	_	-次評価の説	4 pp		一 %	評価
		1 -	士が中歩し#			.₩ . ₩	で確保できる等	いの中佐			次評価							
	.	١.					を		0	少ない	0	大きい		民の活動物 「はならない		_	少ない	大きい
	必要	2.	厳しい財政制	犬況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	0	ある	す。			O #	ない	ある
	性						方法等の改善の		0	ある	•	ない				O	ある	● ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	,てニーズを 	0	いる	•	いない) l	いる	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	二、事業内	容が必	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	γ,	いえる		クラブ等が		\sim	いえない	● いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	γ,	いえる		て利用して はあります		O 1	いえない	● いえる
C	姓	3.	市が実施する	る施策の中で舞	預似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しない	1379311	10.03 7 0.7	5	<u> </u>	する	● しない
HECK		4.	事業の継続を	としても成果の	の向上が期	待で	きない。		0	できな	γ <u></u>	できる				0 7	できない	● できる
C K		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて針	らっている		通じ利用さ	れていま	O F	目標に比	べて劣っている
	達世	2.	目標設定に対	対して成果があ	あまり上か	って	いないと思う	0	0	あまり」	こがってし	ない	す。			O at	あまり上が	っていない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	成してい	いる				相	既ね達成	している
		4.	目標設定に対	対して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		•	十分達	成してい	งอ				O +	十分達成	している
		1.	効果に比べて	てコストが高い	, \ _0				0	高い	0	適当		日施設が利			高い	● 適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウ	か新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できない	(効率	性は大であ	りまり。	0.7	できる	● できない
	性	3.	予算・人員と	上成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	がある。	0	ある	0	ない				○ å	ある	● ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更が	ょどにより	コス	ト削減の余地	がある。	0	ある	0	ない				○ a	ある	● ない
					_	次評	価							二次	评価			
	電車右	西点	必要性	有効性	達成原	吏	効率性	総合評	陌		必要	性	有効性	達成度	効率'	性	総	合評価
			4	4	4		4	Α			4		4	3	4			Α
		後の	○拡大・充)	方法改善	〇 民間委託	托等			大・充実	● 現物		737-741			間委託等 ——
A	万回	句性	○ 縮小	│○ 統合/約	料設定	0	廃止/休止			() 縮/	_	<u>統合/終</u>					
ACT												二次	マ評価での)指摘事項及	び一次評	価との)相違点	Į.
10		面の 題	館も老朽化し	ており、設備等	を充実して	ていき	きたいです。							:、施設の長寿	命化に向	けた維持	持管理を	を目指した取
N	وع	革案 実行 画	避難場所に排	旨定されている	為、施設 <i>σ</i>	耐震	診断を早急に	実施したい。		糸	lを進め	つてくださし	,\ _°					
		員会 i事項																

	No. 40 —	16 基本事務事	業名 大	吴公民館1	企画運営事業	事務事業	業名 大	吴高齢者教室		公的関·	与 8 シ	/一ト作成日	平成29年	₹6月15日
	部局名	孝	枚育委員	会	課名	公民館	官	主務課長	名	坂東 孝-	- シ-	ート作成者名		頓 和文
	事業区分	1 ソフト	事業		3 経常的事務事	業	5 補助	金·負担金·支	援 📗 🕳	来话员十分	✓ 1 [直営	3 全	部委託
	争未区万	O 2 11-15	事業	0	4 施設の維持管	9理 🔘	6 内部	管理事務・その	D他 事	業運営方法	_ 2 -	一部委託	4 補	助等
		基本構想(政	(策) 1.	人が輝くま	きちづくり			実施計画			事業	€の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	(2)生涯学習	の充実		()1 該当	平	成 ^左	F ~ 平	· 成 年	✓期間	設定なし
		主要施策	(5)	特色ある生	上涯学習プログラ.	ムの整備∙拐	是供 (2 非該当	相	拠法令等	社会教育	育法 阿波市公民	民館条例	
		対象(誰を、 何を)	市内(大	俣区域内高	高齢者)									
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	高齢者が	生きがいを持ちな	がら元気で	生き生き	きと過ごせるため	かの学習 <i>の</i>)場の提供を	·図ります。			
PL		たいのか)	今年度											
A		具体的にどの	りようなえ	活動を行い	ヽますか。(主なも	もの5つまつ	で)							
N		① 幼稚園・1	保育所園	児とのふれ	しあい 事業									
	事業の	② 小学校児	皇との交	を流事業										
	活動内容	③ 健康推進	事業											
		④ 交通安全	教室											
		5												
		指標名	名	計算式又	くは指標設定理由	単位		平成 27	年度	平成 2	8 年度	平成 29	年度	最終目標
	数値目標	高齢者教室	参加数	15人×7	同	人	目標		180		105		105	
	(事業の目的		<i>9</i> /JH 3A	10)()	—		実績		85		90			
	及び活動内						目標							
	容の達成度 を測る指標)						実績							
	ではらり日1年/						目標							
		A =11		<u> </u>	A = 1	1	実績	÷ #		_ 111 A #/	· 			
	予算費目	会 計			会計 - <u>누구노</u> #		10 教		項	5 社会教		3	公民館費	T
				² 成 2		平成	28	年度決算	平成	29 :	年度予算		備考	
		国庫支出			千円	_		千円			千円	_		
		県 支 出	金		千円			千円			千円	_		
	直接事業費	地 方 その他特定原	債		千円			千円			千円	_		
DO					千円	_		千円			千円			
U		一 般 財 計(A)	源		千円 0 千円			千円 0 千円			千円 0 千円			
		正職員工数·	奴弗 ○	.000 人	0 1		1	0 千円	0.000	1	0 千円			
	人件費(B)	正 職員工数: 臨時·嘱託職		, ,	 U + E 館指導員		<u>へ</u> 公民館指			<u>へ</u> 公民館指導				
		臨時·嘱託工数·		.230 人	始拍等貝 414 千円		人	日等貝 414 千円	0.230	人	· 只 <mark> 414</mark> 千円			
		業費(A+B)	,11,0	.200 /	414 千円		<u> </u>	414 千円		/	414 千円			

					,						-,	·—			. L == !-	= + -	_			== /-	
					ェック項目						-次評	価			-次評価 σ				二次	評価	
		1.					で確保できる等 と響は大きくな		0	少なし	, (大き	い	て生きが	が進む中、高 いづくりの・	一つ	として、	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	犬況の中、次年	年度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある		学習の場 要であり	を提供する ます	ること	は、重	0	ない	•	ある
	性						方法等の改善の		0	ある	0	ない		女しのり	Ф У 0			0	ある	•	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	,てニーズを -	0	いる	•	いない	い					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	こ、事業内容	容が』	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	:t1 (いえる	3		を迎えてい できること			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	こはいえない。	0	いえな	:t1 (いえる	3	で、有効	性は高いも			0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しなし	L1	す。				0	する	•	しない
HECK		4.	事業の継続を	としても成果の	の向上が期	待で	きない。		0	できな	il () できる	3					0	できない	•	できる
C		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて	劣ってい	る		多く、学習 概ね達成し			0	目標に比	べて劣っ	ている
	達世	2.	目標設定に対	対して成果がる	あまり上が	って	いないと思う	0	0	あまり.	上がって	いない		69006	城仏達成し	<i>,</i> (゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙ゔ゙゚゙゚゚゙゙ゔ゙゚゙゙゙゙゙゚゚゙ゔ゙゚゙゙゙゙゙゚゚゙ゔ゚゙゙゙゙゙゙	0	あまり上か	っていた	۲U د
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目れ	票を達成し	てい	ると思う。		0	概ね遺	を成して	いる						•	概ね達成	している)
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	して	いると思う。		•	十分這	達成して	いる						0	十分達成	している	5
		1.	効果に比べて	てコストが高い	, \ ₀				0	高い	0	適当	i		学習を通し 知れないも			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0	できた	ない	す。	はいないで	ינולט	めりよ	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	と成果の関係	で、実施手	段等	を見直す余地	がある。	0	ある	0	ない						•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更を	などにより	コス	ト削減の余地	がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
					_	次評	価								二》	欠評·	価				
	=17.73	西点	必要性	有効性	達成原		効率性	総合評	′価		必要	性	7	有効性	達成度	Ę	効率	生	総	合評	西
	<u>-</u>	三元	4	4	4		4	Α			4			4	3		3			Α	
		後の	○ 拡大・充	医実 ● 現	状維持	0	方法改善	○ 民間委託	托等	4	○ 拡	大·充	実	● 現状	光維持		方法改善	善]委託	等
Δ	方向	句性	○ 縮小	│	咚期設定	0	廃止/休止				〇 縮	小	\bigcirc	統合/終	期設定	0	廃止/休	止			
ACT				•									二次	評価での	指摘事項	及し	「一次評	価との	の相違点	į	
Ť	当市	面の	高齢化が進む	ひ中で、元気に	活動できる	よう	にサポートして	いける教室を	考えて	い											
i			きたいです。		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,																
0		_									5 1 1 5	- Abb 4+									
N	改善	革案									見状で	の継続	に劣	ないてくださ	زر _،						
		[六 【			持つことは	、大切	刃であるので要	冥望があるもの	を計画	画し											
		·画	実行していき	よす。 							_	_	_			_				_	
		員会 i事項																			

	No. 40 —	17 基本事務事	業名 久服	券公民館企画 は	軍営事業	事務事業	に とり とり とり とり とうしゅ とうしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	ずふれあい体	験事業	公的関与	8	シート作成日	平成29年	F6月15日
	部局名	教	対育委員	会	課名	公民館	官	主務課長	名	坂東 孝一	シ	·一ト作成者名	長河	頭 和文
	事業区分	① 1 ソフト?	事業	○ 3 経	常的事務事	業	5 補助3	金·負担金·支	援 📗 🕳 🛎	美運営方法	✓ 1	直営	3 全	部委託
	争未区刀	○ 2 ハード	事業	○ 4 施	設の維持管	理	6 内部管	管理事務・その	D他 ^{事 未}	建呂刀法	2	一部委託	4 補	助等
		基本構想(政	(策) 1	人が輝くまちつ	うくり			実施計画			事	業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	<mark>策)</mark> (2)	生涯学習の弁	実		O	1 該当	平原	年	~ 2	平成 年	✓期間	設定なし
		主要施策	(5)	特色ある生涯学	学習プログラム	の整備・排	是供 🔘	2 非該当	根	拠法令等	社会教	育法 阿波市公	民館条例	
		対象(誰を、 何を)	市民・久	勝地区内の市員	₹									
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	体験や発表の	機会を提供し	て、人間性	豊かに通	過ごせるように、	異年齢の	人達とふれあ	いを深め	ります。		
PL		たいのか)	今年度											
AN				舌動を行います		の5つま	で)							
N		① 久勝幼稚	園児親子	ふれあい田植	え体験事業									
	事業の			ふれあい稲刈										
	活動内容	③ 久勝幼稚	園児と高	齢者との世代間	引ふれあい交流									
		4												
		5												
		指標名	各	計算式又は指	標設定理由	単位		平成 27	年度	平成 28		平成 29	年度	最終目標
	数値目標	幼稚園児親子	ふれあい	1回 40人		人	目標		60		50		40	
	(事業の目的	田植え体験参加		10 10%			実績		46		40			
	及び活動内	幼稚園児親子	ふれあい	1回 40人		人	目標		60		50		40	
	容の達成度 を測る指標)	稲刈り体験参	加者致				実績		46		40			
		幼稚園児と高齢者	当との世代 2.4.4.4.**	1回 70人		人	目標		80		80		70	
		間ふれあい交流会	云梦加有剱	60.0=1			実績	<u> </u>	58	= 1±1 A +/L-	6(八日約書	b
	予算費目	会 計	1 7	一般会計		款	10 教育			5 社会教			公民館費	E
		园 庄 士 山		.成 27	年度決算	平成	28	年度決算	平成	29 年	度予算		備考	
		国庫支出県支出	金金		<u>千円</u> 千円			<u>千円</u> 千円			千円 千円			
		<u>宗 又 山</u> 地 方	 債		<u> </u>			<u> </u>			 千円			
D	直接事業費	地 力 その他特定則						<u> </u>				_		
O		一般財	源		90 千円			76 千円						
		計(A)	//示		90 千円			76 千円			77 千円			
		正職員工数:	経費 0	000 人	0 千円	0.000	人	0 千円	0.000	λ	0 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		公民館指			公民館指			民館指導員		-		
		臨時·嘱託工数·		450 人	サス 810 千円		人	810 千円			<u>810</u> 千円	9		
		業費(A+B)			900 ∓⊞		- 1	886 ∓⊞			887 ∓			

				_	エー・・・ - ナ	중다					分詞 圧			かがほる	/ 들片 미			— 小	= 1 /#	
		1 4	+18++1		チェックエ		ジャルテナフタ	小		<u> </u>	欠評価			-次評価σ				二次	5半1四	
		1.					「確保できる等 ジ響は大きくた		0	少ない	⊙ ≯	いきつ	現在、農	齡化·核家 業体験∙世	代間	ふれあ	○ 少な	ほい	● 大きし	,١
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、	次年度以	降実施す	「る緊急性が認	思められない。		ない	● あ	iる		等、多数 <i>0</i> ふれあうこ			<u> </u>		ある	
	性						方法等の改善の			ある	● な	ılı	成に不可			. /(141/1/	<u></u>	1	● ない	
		4.	住民ニーズの上回るサート			、近隣自	治体と比較し	ノてニーズを 	0	いる	• U	ない					○ เงื)	いない	١
		1.	施策の目的を	実現するため	かに、事	業内容が』	必ずしも適切と	:はいえない。	0	いえない	• • ·	える)参加者も3 してふれあ			○ <i>い</i> え	ない.	● いえる	ò
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化など	、施策へ	の貢献度	が著しく高いと	とはいえない。	0	いえない	• • ·	える	知り食の	安全·安心	の為	、日々	○ <i>い</i> え	ない.	いえる	5
C	性	3.	市が実施する	る施策の中で	で類似・	重複した	- 事務事業が存	存在する。	0	する	● し	ない		いる人達を		ことは、	○ する)	しなし	١
HECK		4.	事業の継続を	をしても成身	果の向上	が期待で	ごきない。		0	できない	• O T	:iきる					○ でき	ない	● できる	5
CK		1.	目標設定に対	対して進捗料	犬況が劣	っている	と思う。		0	目標にと	とべて劣って	ている		多く家庭でえ・稲刈り			○ 目標	に比べ	べて劣ってい	る
	達出	2.	目標設定に対	対して成果が	があまり	上がって	こいないと思う	5 。	O 7	あまり上	がっていなし	い	しんでお	り事業目的			あま	り上が	っていない	
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね	目標を達	成してい	いると思う。		O #	概ね達成	戊している		いると思い	います。			● 概ね	達成し	ている	
		4.	目標設定に対	対して十分に	こ目標を	達成して	こいると思う。		•	十分達度	成している						○ + /	達成	している	
		1.	効果に比べて	てコストが記	高い。				0	高い	● 道	鱼当		対し、参加			○高い	١	● 適当	
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハワ	りや新た	な制度を	た活用できる。		0	できる	● で	゙ きない	7,10, 1 73	и ст фе	_,_,	0478	○ でき	·る	● できた	į١١
	性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係	系で、実	施手段等	ទを見直す余 地	也がある。		ある	● な	いに					ある		○ ない	
		4.	電子化や契約	的方法の変更	更などに	よりコス	スト削減の余地	也がある。		ある	● た	いい					<u></u>)	● ない	
						一次評	F 価							二》	欠評(西				
	電車右	正点	必要性	有効性	通		効率性	総合評	陌		必要性	7	有効性	達成度	F	効率性	生	総	合評価	
			4	4		4	4	Α			4		4	3		3			Α	
		後の	○ 拡大・充		見状維持			〇 民間委託	迁等	C	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	充実	● 現物			方法改善		民間	委託等	
A	方「	句性	○ 縮小	○ 統合	/終期設	定 〇	廃止/休止				縮小		統合/終			廃止/休				
ACT												二次	評価での)指摘事項	及び	「一次評	価との相	違点		
T	当同	面の	ふれあい交流	流の際、高齢	者に対し	て幼稚園	園児が年々少な	なくなってきてし	るのか	วรั										
Ī	課	題	気にかかりま	す。																
0										Æ	ほロルし	〜 '= #	:+ L.II	火 + 仝 + n l	Б -		₽₩1-#∀ L	4 - / -	L*+1 \	
N	改造	革案								一合	理団体と	の連携	をとり、今	後も参加し	、やす	い企画週	里宮に分6	0'(()	:2v,°	
			効率よく運営	していくため	の企画」	立案を行し	います。													
		画																		
		員会								•										
	扣扣抗	事項																		

	No. 40 —	18 基本事務事	業名人	勝公民館』	企画運営事業	事務	事業名	久勝高齢	者教室		公自	的関与 8	シー	-卜作成日	平成29年	₹6月15日
	部局名	教	枚育委員	会	課名	公	·民館	主	タス りょうしょう りょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょ かいしょ かいしょ かいしょ かいしょ かいしょ かいしょ かいしょ	名	坂東	孝一	シー	~作成者名	長港	頓 和文
	事業区分	① 1 ソフト	事業		3 経常的事務	事業	○ 5 補	助金·負	∃金・支	援 📗	業運営	<u>+</u> ;±	1 直宮	営	□ 3 至	部委託
	争未应力	O 2 11-15	事業		4 施設の維持	F 管理	〇 6 内	部管理事	務•そ0	D他 事:	未理呂。	万法	2 一岩	部委託	4 補	亅
		基本構想(政	(策) 1.	人が輝くま	きちづくり			実施	計画				事業σ)開始•終〕	7	
	総合計画	基本計画(施	(2	2)生涯学習	の充実			● 1 該:	当	平	成	年 ~	平成	年	✓ 期間	設定なし
		主要施策	(5)特色ある生	上涯学習プログ ⁻	ラムの整体	備∙提供	○ 2 非	亥当	柜	视法令	3等 社会	会教育法	5. 阿波市公	民館条例	
		対象(誰を、 何を)	久勝地	区高齢者∙市	市民											
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	いきいきと	こ、又健やかに暮	暮らせるよ	うに、教	養∙親睦∙趙	!味等生	涯学習の	場の提係	共に努めま	ぎす。			
PL		たいのか)	今年度	学習を通り	じて、生活文化の	の向上が	できるよ	う取り組みる	図りまっ	す。						
A		具体的にどの	りような	活動を行い	`ますか。(主な	なもの5つ	oまで)									
N		① 久勝高齢														
	事業の	② 久勝高齢	者教室	・幼稚園児と	の世代間ふれ	あい交流	会									
	活動内容	③ 久勝高齢	者教室	手芸教室												
		4														
		5														
		指標名	各	計算式又	は指標設定理	■由 単作			成 27		平月	t 28 年/		平成 29		最終目標
	数値目標	高齢者教室		1 🛭 5	50 Y	人		標		60			60		50	
	(事業の目的	お誕生会参加	者数	,,,			美			58			0			
	及び活動内	高断有教至 世代間交流会	参加者	1 🛭 5	50人	人	目			60			60		50	
	谷の建成反 た測る指揮)	数					美			54			60			
		高齢者教室	1 1 2	8人×	12回	人		標		120			120		96	
		手芸講座参加	白奴	60.	∧ =1		実			118	- 1+1	人业去进	90			±
	予算費目	会 計	1 5	一般:				教育費	法安	項		会教育費		目 3	公民館	₹
		国庫支出		平成 2			<u> </u>	8 平月	決算 千円	平成	29	年度	7		備考	
		県 支 出	金金			チ円 チ円			千円				千円			
		原 又 山 地 方				F円 F円			千円				千円			
D	直接事業費	その他特定則				f円			千円				千円			
O		一般財	源		58 =				0 千円			68	千円			
		計(A)	////		58 =				0 千円				千円			
		正職員工数:	経費 (0.000 人	0 =		00 人		0 千円	0.000	人		千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		, ,	館指導員	0.0	, ,	館指導員			八 公民館					
		臨時·嘱託工数·		0.200 人	360 =	千円 0.2			0 千円		人		千円			
	全体事	業費(A+B)			418 =				0 千円				千円			

									/							
				ェック項目				一次	評価			・次評価の			二次	評価
		1.	市が実施しなくても、公 主体があり、事業を廃止				〇 少	ない	大	きい!			こ過ごせるよ 把握と身近	〇 少	ない	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次	年度以降実施す	する緊急性が認	忍められない。	○ な	い	あ	る	な学習の	場として必	要です。	なり	い	ある
	性		住民満足度の向上のために				あ	る	な	い				○ <i>あ</i> ?	3	ない
		4.	住民ニーズの低下がみら 上回るサービスとなって		自治体と比較し	ノてニーズを 	○ <i>ι</i> ،	る	• W	ない				○ w	3	● いない
		1.	施策の目的を実現するため	に、事業内容が	必ずしも適切と	はいえない。	○ v	えない	● い	える		身近な所で者も多く	での活動な 健康等の講	() W	えない	● いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など	、施策への貢献度	ほが著しく高い。	とはいえない。	○ v	えない	● い	える			が高いです。	(v.	えない	● いえる
CH	姓	3.	市が実施する施策の中で	類似・重複した	こ事務事業が存	存在する。	<u></u> ਰ	る	● U:	ない				す	3	● しない
E		4.	事業の継続をしても成果	の向上が期待で	できない。		で	きない	で	きる				○ で	きない	● できる
ECK		1.	目標設定に対して進捗状	況が劣っている	ると思う。			標に比ん	べて劣って	いる			手芸・園児と 学参加率も	〇 目 ²	標に比り	べて劣っている
	達世	2.	目標設定に対して成果が	あまり上がって	ていないと思う	5 。	() b	まり上が	っていなし	١		達成してい		O あ	まり上が [.]	っていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目	標を達成してし	いると思う。		● 概	ね達成	している					● 概	ね達成し	している
		4.	目標設定に対して十分に	.目標を達成して	ていると思う。		O +	分達成	している					O +:	分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高	زر، _°			〇 高	ilı	適	i当		らも見ても ても効率性	参加者数かは高いで	〇 高	l1	● 適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウ	や新たな制度で	を活用できる。		で	きる	で	きない	す。	C 0//1-11	101010	○ で	きる	● できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係	で、実施手段等	等を見直す余地	也がある。	<u></u> б	る	な	い				● あ	3	○ ない
		4.	電子化や契約方法の変更	[などによりコス	スト削減の余地	也がある。	あ	る	で	い				○ ba	3	● ない
				一次評	平価							二次	マ評価			
	輕値	三点	必要性有効性	達成度	効率性	総合評	価	Ų	必要性	7	有効性	達成度	効率	性	総	合評価
			4 4	3	4	A			4		4	3	3	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>		Α
		多の	ŭ	別状維持 ○	7570-710	〇 民間委託	计等		拡大・)	維持	<u>方法改</u>)民間	季託等
ACT	יוכ	句性	○ 縮小 ○ 統合/	終期設定	廃止/休止			0	縮小	0	統合/終		○ 廃止/休			
C			経費削減の面から、まする	ます 三齢化してし	ハス钼状から 🛢	#4.が身近か慢	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			二次	評価での	指摘事垻	及び一次評	が との を	祖 遅点	Į .
Ţ		面の	習する場の提供は、高齢													
Ī	詸	題	いです。													
N								- 活動	の支援	と自主	運営の指	導を行って	ください。			
М		案	高齢者の生活に張りと潤し	いを与える為、学	空機会の提供	を続ける必要?	がありま		-							
		行	す。	_ 3.203()			. 22 7 04									
		画														
		員会 i事項														

	No. 40 —	19 基本事務事	業名 久勝	券公民館生	E活文化振興事	業事務事	事業名	各種団体の	育成		公的関与	9 シ	ノート作成日	平成29年	F6月15日
	部局名	孝	首委員	会	課名	公臣	民館	主務語	果長名		坂東 孝一	- シ	一ト作成者名	長海	頓 和文
	事業区分	1 ソフト	事業		3 経常的事務	事業 () 5 補	助金·負担金	È∙支摄	重要	美運営方法	1 ī	直営	3 全	部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業		4 施設の維持	管理 () 6内	部管理事務	・その	他	民建善力本	2 -	一部委託	✓ 4 補	亅
		基本構想(政	(策) 1.	人が輝くる	まちづくり			実施計	画			事第	業の開始∙終了		
	総合計画	基本計画(施	(2)	生涯学習	の充実			○ 1 該当		平月	式 年	:~ ₹	F成 年	✓期間	設定なし
		主要施策	(6)	関係団体	本の育成			● 2 非該	<u></u>	根	拠法令等	社会教育	育法 阿波市公	民館条例	
		対象(誰を、 何を)	市民												
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	市の行事	に積極的に参加	する等、テ	元気に生	活に張りと潤	いをも	たせ健康	で明るい生	活を送り、	自主的活動がて	きる補助	をします。
PL		たいのか)	今年度	自主的活	動ができるよう技	援助を行い	ます。								
AN				舌動を行し	いますか。(主な	もの5つ	まで)								
N		① 久勝老人													
	事業の	② 久勝運転													
	活動内容	③ 久勝婦人	、会												
		4													
		5													
		指標名	各	計算式又	ては指標設定理	由単位			27 年		平成 28		平成 29		最終目標
	数値目標	老人クラブ参加	加者	総会307	人•体育大会35。		目標			40		40		40	
	(事業の目的			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			実			38		38			
	及び活動内	サークル活動		240	人×48回	人	目			17000		15000		15000	
	容の達成度 を測る指標)						実			11470		12000)		
	では1の1月1年/						目								
	7 佐井口	A =11		60	Λ = I	1 +	実				= 1±1 A +/L	大 #		八口約書	±-
	予算費目	会 計	I 1		会計		次 10		左		5 社会教		目 3	公民館費	₹
		园庄士山		^Z 成 2		_	28	3 年度決		平成	29 4	F度予算	,	備考	
		国庫支出県支出	金			·H			千円			<u> </u>	_		
		<u>宗 又 山</u> 地 方				·円 ·円			千円			千円			
D	直接事業費	その他特定則				·Ħ			千円				_		
O		一般財	源		0 +			0	千円			0 千円	_		
		計(A)	//示		0 1			0	千円			0 fm	_		
		正職員工数:	経費 0	.000 人	0 =		0 人		千円	0.000	λ .	0 千円	_		
	人件費(B)	臨時·嘱託聯			<mark></mark> 館指導員	0.00		で 宮指導員			· · 民館指導		1		
		臨時·嘱託工数·		.150 人	270 千	円 0.15		270	千円	0.150		2 70 千円	1		
		業費(A+B)		/\	270 ±	_		270	千円			270 千円	_		

			チェック項目		一,冲	=亚/莱	_	-次評価の説	DA .	— %	に評価
		1 -		έτ.	一次	a于1Ш					(計1)四
		١.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	也 (少)	ない	大きい	うに参加	「毎日元気に過 者のニーズ把	握と身近	○ 少ない	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められな	<mark>い。</mark> () なし	N	ある	な学習の	場として必要で	です。	○ ない	ある
	性		住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある		3	● ない				🔾 ಹಕ	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズ 上回るサービスとなっている。	E O N	3	いない				いる	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない	·。	えない	いえる)身近な所での]者も多く、健康		○ いえない	● いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	、	えない	いえる		常に関心が高		○ いえない	● いえる
C	性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<u></u>	3	● しない				する	● しない
HECK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<u> </u>	きない	● できる				(できない	● できる
C		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○目	標に比り	べて劣っている		★・研修会・手芸い交流会等参		○ 目標に比	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あま	きり上が [.]	っていない		達成しています 達成しています		○ あまり上か	っていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	● 概	ね達成し	している				● 概ね達成	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	O +3	分達成	している				一 十分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い。	○ 高	lı	● 適当		いらも見ても参加 ても効率性は高		○高い	● 適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<u></u> ਾ ਨ	きる	● できない		C 0/0] — [1:10],	3,0°C	○ できる	● できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ <i>あ</i> る	3	● ない				ある	○ ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ba	3	● ない				<u></u>	● ない
			一次評価					二次評	<u>'</u> 価		
	量亚石	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総:	許価	业	必要性	有効性	達成度	効率	生 総	合評価
			4 4 3 4	Α		4	4	3	3		Α
		後の		委託等		拡大·充実		大維持 〇	方法改善	善 ○ 民間	『委託等
Δ	方向	句性	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止			縮小	יוי אם טעוי	0	廃止/休		
\overline{c}				10 11		_;	欠評価での)指摘事項及	び一次評	価との相違点	ħ.
ACT-O		面の!題	経費削減の面から、ますます高齢化している現状から、誰もが身近 習する場の提供は、高齢者のいきがい、健康増進の面からも現状 いです。		- 久锸	団体との連	生たレ니 仝	後も参加しやる	おいな画家	電学に小がけく	イださい
N	と될	革案 実行 ·画	高齢者の生活に張りと潤いを与える為、学習機会の提供を続ける必 す。	要がありま	古作	団件Cの圧	みとこり、 フ		7 0 正凹片	上白 に 心 が い)	
		員会 i事項									

	No. 40 —	20 基本事務事	業名人服	券公民館加	拖設管理事業	事務事	業名 公.	民館施設管理	事業	公的関係	9 シ	ノート作成日	平成29年	F6月15日
	部局名	教	敢育委員 [·]	会	課名	公民館	館	主務課長	名	坂東 孝一	シ	ート作成者名		頓 和文
	事業区分	1 ソフト	事業		3 経常的事務署	事業	5 補助	金·負担金·支	援 🗼	業運営方法	✓ 1	直営	3全	部委託
	争未区万	○ 2 ハード	事業	•	4 施設の維持領	管理 〇	6 内部	管理事務・その	か他 ^{争:}	未理呂刀法	2 -	一部委託	4 裤	助等
		基本構想(政	(策) 1.	人が輝くま	きちづくり			実施計画			事業	≰の開始∙終了		
	総合計画	基本計画(施	<mark>策)</mark> (2)	生涯学習	の充実		C)1 該当	平	成 年	- ∼ ∓	7成 年	✓期間	設定なし
		主要施策	(2)	生涯学習	関連施設の整備	充実•機能引	強化 ●)2 非該当	根	拠法令等	社会教育	育法 阿波市公	民館条例	
		対象(誰を、 何を)	市民											
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	地域生涯	学習の拠点として	て、利用者か	「安全で	快適に活動でき	るように維	持管理を図り	ります。			
P		たいのか)	今年度											
AN		具体的にどの	りような流	舌動を行し	ゝますか。(主な	もの5つま	で)							
N		① 日常の公	民館貸出	ぱの連絡調	整									
	事業の	② 夜間・休日	∃・祭日の)貸出の連	絡調整									
	活動内容	③ 電気の保	安業務・	消防設備の	の点検業務									
		④ 浄化槽の	清掃点核	業務										
		⑤ 公民館の												
		指標名	各	計算式又	くは指標設定理E	由 単位		平成 27	年度	平成 28	3 年度	平成 29	年度	最終目標
	数値目標	開館日数		359日		日日	目標		359		359		359	
	(事業の目的			ОООД			実績		359		359			
		各講座・クラブ	活動団	 コーラスタ	卜18クラブ	クラブ数	目標		20		20		20	
	容の達成度 を測る指標)	体数		_ ,,,		,,,,	実績		19		19			
	では1の1月1年/						目標							
	7 M # D	A =1		ÁD	A =1	+1.	実績			_ 1+1 ^ +//	* #		₩	±
	予算費目	会 計	1	一般			10 教		項	5 社会教		目 3	公民館費	<u> </u>
				成 2			28	年度決算	平成	29 f	F度予算		備考	
		国庫支出県支出			千F 千F	_		千円			千円			
		<u>宗 又 山</u> 地 方	<u>金</u> 債		<u>+</u>	_		<u>千円</u> 千円			<u>千円</u> 千円	-		
D	直接事業費	地 力 その他特定則			67 f f			66 千円			80 千円	_		
O		一般財	源		2,634 千			3,007 千円			2,899 千円			
		計(A)	//示		2,701 千F			3,073 千円			2,979 千円			
		正職員工数:	経費 0	000 人	0 f i		X	0,676 117	0.000		0 千円	_		
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		, ,	館指導員		八 公民館技			公民館指導		1		
		臨時·嘱託工数·		280 人	504 +F		人	504 千円		人	<mark>504</mark> 千円	1		
	全体事	業費(A+B)			3.205 ∓F			3,577 千円			8.483 千円			

			チェ	ック項目				— ;	欠評価	<u> </u>	_	-次評価の訪	明		二次	評価
		1.	市が実施しなくても、公平 主体があり、事業を廃止・				0	少ない	•	大きい		^{をしなくては、} 団体はないと		〇 少	ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年	= 度以降実施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある	す。	411 10 0 0 C		なり	Ŋ	ある
	性	3.	住民満足度の向上のために、	現在の手段、	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない				○ <i>あ</i> ?	3	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられ 上回るサービスとなってい		治体と比較し	,てニーズを	0	いる	•	いない				○ w	3	● いない
		1.	施策の目的を実現するために	、事業内容が	必ずしも適切と	:はいえない。	0	いえない	•	いえる		本、クラブの であり有効性		() w	えない	● いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、	施策への貢献度	が著しく高いと	とはいえない。	0	いえない	, O	いえる	です。	このが有効は	は向い	O 11	えない	いえる
C	性	3.	市が実施する施策の中で類	似・重複した	事務事業が存	在する。	0	する	0	しない				す	3	● しない
HUCX		4.	事業の継続をしても成果の)向上が期待で	きない。		0	できない	•	できる				○ で	きない	● できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況	₹が劣っている	と思う。		0	目標に上	比べて劣	っている	利用者もます。	多く十分達	成してい	○ 目標	標に比べ	べて劣っている
	達世	2.	目標設定に対して成果があ	うまり上がって	いないと思う	j _o	0	あまり上	がってい	ない	まり。			<u></u> ಹಕ	きり上がっ	っていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標	悪を達成してい	ると思う。		•	概ね達成	成してい	<u>გ</u>	1			● 概	ね達成し	している
		4.	目標設定に対して十分に目	標を達成して	いると思う。		0	十分達	求してい	3				O +:	分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い	١ _°			0	高い	•	適当		司じ施設をま 費面での節		(高	l,	● 適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウギ	新たな制度を	活用できる。		0	できる	•	できない		夏面での別 、効率性は記		○ で	きる	● できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で	:、実施手段等	を見直す余地	かある。	0	ある	•	ない	す。			● あ	3	○ ない
		4.	電子化や契約方法の変更な	こどによりコス	ト削減の余地	かある。	0	ある	•	ない	1			○ b?	3	● ない
				一次評								二次記				
	評值	西点		達成度 3	効率性 4	総合評	[価		<u>必要</u> 1	生	有効性 4	達成度 3	<u>効率</u>	性	総	合評価 A
	今往	多の	∴		 方法改善	○ 民間委託	托等			 c•充実				善) 民間	_]委託等
Δ		句性	○ 縮小 ○ 統合/終		廃止/休止				縮小	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	統合/終		廃止/休	证 _		
ACT										二次	(評価での	指摘事項及	び一次評	価との	相違点	
0			公民館の維持管理に多く いと思います。	の費用が要り	ますが、節約	」して運営して	いき		III 6/1 . 2	\$\\$\\$\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	電学 士士	:、施設の長寿	会ルに向	1++- %# +=	. 竺 田 🛨	- O +61 +_170
N		革案		呼声を流切に	·休田」必要	のたい昭明等	をため	組		が至的なってください		、他政の女为	・叩仏(こ)円	い /こ祚子	官垤で	日拍し/こ収
		実行 ·画	社員を削減するためについています。	吸历で辿り10	- 戌mし、必多	- V/ みい ' 沢代 P/] =	ᡠ᠘	היוי נו								
		員会 語車項														

	No. 40 —	21 基本事務事	業名 伊沙	尺公民館 1	企画運営事業	事務事	業名 阿:	波女性セミナー	_	公的関	与 8 シ	ノート作成日	平成29年	丰6月15日
	部局名	孝	枚育委員	会	課名	公民:	館	主務課長	名	坂東 孝-	- シ	ート作成者名		頼 和文
	事業区分	① 1 ソフト	事業		3 経常的事務	事業	5 補助	金·負担金·支	援 📗 🛓	業運営方法	_	直営	3 全	≧部委託
	争未应力	O 2 11-15	事業		4 施設の維持	管理	6 内部	管理事務・その	D他 事	未理呂刀冮	2 -	一部委託	4 裤	亅助等
		基本構想(政						実施計画			事第	僕の開始∙終了		
	総合計画	基本計画(施		生涯学習	の充実		()1 該当	平	成 ^左	₹ ~ ∓	「 成 年	✓期間	設定なし
		主要施策	(5)	特色ある生	生涯学習プログラ	ムの整備・	提供)2 非該当	根	拠法令等	社会教育	育法 阿波市公	民館条例	
		対象(誰を、 何を)	阿波市在	E住の女性										
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	女性として	ての知識や教養を	を高め心身と	とともに健	健康的で明るい地	地域づくりる	を目的としま	す。			
PL		たいのか)	今年度											
AN					いますか。(主な	もの5つま	で)							
N		① 年6回(6	月~2月)開催										
	事業の	② 県内視察)· 防災体験)									
	活動内容	③ 料理教室												
		④ 脳トレ身体												
		⑤ 社会保障												
		指標名	名	計算式又	ζは指標設定理(由単位		平成 27		平成 2	8 年度	平成 29		最終目標
	数値目標	参加人数		1回25人	×6回	人	目標		300		200		150	
	(事業の目的						実績		199		135			
	及び活動内 容の達成度						目標							
	谷の達成度 を測る指標)						実績							
							目標					1		
	予算費目	会 計		· · · · · · · · · · · · · · · · · ·	会計	±hn	実績 10 教 ³	<u></u> 去弗	項	5 社会教	h 本 弗		公民館費	*
	了异貝口	本 引	<u> </u>	成 2			28	_{月貝} 年度決算	平成		年度予算	<u> 日 3</u>	備考	₹
		国庫支出		1 3 2, 2	<u> </u>		20	<u>一一子及八升</u> 千円	1 19%	20	<u>十尺 </u>	1	V⊞ ′Ō	
			金			_		千円			<u> </u>			
		水 入 出 地 方	債					千円			千円	_		
D	直接事業費	その他特定			千			千円			千円	_		
0		一般 財	源		159 ∓⊦			89 千円			169 千円			
		計(A)			159 ∓।	円		89 千円			169 千円	1		
		正職員工数·	経費 0.	000 人	0 ∓l	⊞ 0.000	人	0 千円	0.000	人	0 千円	1		
	人件費(B)	臨時·嘱託職	戦種	公民	館指導員		公民館技	省導員	4	公民館指導	員			
		臨時·嘱託工数·	·経費 0.	330 人	594 千日	円 0.330	人	594 千円	0.480	人	<mark>864</mark> 千円	1		
	全体事	業費(A+B)			753 ∓।	円		683 千円			<mark>1.033</mark> 千円	1		

					こー・・・・トゥ						かまだ			かかばる	=		— ·A	7 = T / III
		-	+10++-+		チェック項		ジカル・キュダ	小			次評価			-次評価の			_ <i>)</i>	マ評価
	ι.	١.					が確保できる等 影響は大きくな		0	少ない	•	大きい	養を高め	通の目的を たり健康的	で明るいま	也	○ 少ない	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、炎	ए年度以 隊	発実施す	する緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある	■域づくりを ■ます。	とするために	:必要と思	い	○ ない	ある
	性						方法等の改善の		0	ある	0	ない	5,				ある	● ない
		4.	住民ニーズ <i>0</i> 上回るサーb			近隣目	自治体と比較し	,てニーズを 	0	いる	•	いない					いる	いない
		1.	施策の目的を	実現するため	かに、事業	内容が	必ずしも適切と	:はいえない。	0	いえなし	, O	いえる		の事業内容 、参加希望			○ いえない	● いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化など	、施策へ	の貢献度	ほが著しく高いと	とはいえない。	0	いえなし	, O	いえる	加者自ら	が年間事業	計画等も		○ いえない	● いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中で	で類似・重	直複した	こ事務事業が存	在する。	0	する	0	しない	定し成果	をあげてい	ます。		する	● しない
HECK		4.	事業の継続を	をしても成身	見の向上が	が期待で	できない。		0	できなし	, O	できる					○ できない	● できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗は	犬況が劣っ	っている	ると思う。		0	目標に	比べて劣	っている		1率も高いの いると思いる		達(○ 目標に比	べて劣っている
	達世	2.	目標設定に対	対して成果だ	があまり_	こがって	ていないと思う	j ₀	0	あまり上	がってい	ない	1,0,000	0.00000	^ 7 °	(○ あまり上た	ぶっていない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成	보してし	いると思う。		0	概ね達	或している	3				(● 概ね達成	している
		4.	目標設定に対	対して十分に	1目標を過	権成して	ていると思う。		•	十分達	成している	გ				(○ 十分達成	えしている
		1.	効果に比べて	てコストが語	高い。				0	高い	•	適当		演してくだる			○高い	● 適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウ	つや新たか	お制度を	を活用できる。		0	できる	0	できない	営に取り	組んでいる			● できる	○ できない
	性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係	系で、実施	拖手段等	等を見直す余地	がある。	0	ある	•	ない	は向いと	思います。			🔵 ಹಕ	● ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更	見などに。	-	スト削減の余地	がある。	0	ある	•	ない					🔾 ಹಕ	● ない
						一次評								二次	評価			
	評価	三	必要性	有効性	達	戓度	効率性	総合評	価		必要性	生	有効性	達成度	効	率性	- - -	合評価
			4	4	7 15 6// 14	4	4	A			4		4	3		3		A
		後の 句性	○拡大・充		見状維持		751=771	〇 民間委託	计等		-	*充実	● 現物		方法			間委託等
ACT	יוכל	刊工	○ 縮小	○ 統合/	/終期設況	Ē O	廃止/休止				縮小)	統合/終		<u> </u>	• •	正しの相違が	<u>+</u>
<u>c</u>	\I/ =	= ~										— 少	は一世での	/拍撷争块	及い一次	计计	皿との作達!	<u> </u>
		題	参加希望者は	は、「広報あれ	っ」で募集	をしてし	います。											
10	林	旭																
N	74:1	主案								——活	動の支	援と自主	運営の指	導を行って	ください。			
			組織の役割を	・決めて、事	業運営を	推進した	こらよいかと思い	います。										
		画;																
		員会 事項																

	No. 40 —	22 基本事務事	業名 伊沙	尺公民館生活	舌文化振興事業	事務事業	業名 各	種団体の育成		公的関	与 8 シ	ート作成日 平	⁻ 成29年	₹6月15日
	部局名	孝	対育委員	会	課名	公民的	館	主務課長	名	坂東 孝-	- シ-	ート作成者名	長津	頁 和文
	事業区分	① 1 ソフト	事業	O 3	経常的事務事	業	5 補助	金·負担金·支	援 📗 귤	業運営方法	_ <u> </u>	営	3 全	:部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業	0 4	施設の維持管	理	6 内部	管理事務・その	D他 事:	未理呂刀沼	2 -	-部委託 [✓ <mark>4補</mark>	助等
		基本構想(政	(策) 1.	人が輝くま	ちづくり			実施計画			事業	€の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	(2))生涯学習(の充実		C)1 該当	平	成	₮ ~ 平	· <mark>成</mark> 年│[√ 期間	設定なし
		主要施策	(6))関係団体(の育成		<u> </u>)2 非該当	根	视法令等	社会教育	舒法 阿波市公民	館条例	,
		対象(誰を、 何を)	市民											
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	市民が楽し	んめることを第一と	し、教養・	健康を高	が生活文化の	振興を図り	ります。				
PL		たいのか)	今年度	自主的活動	かができるように援	題を行い	きす。							
A		具体的にどの	のようなえ	舌動を行い	ますか。(主なも	の5つま	で)							
N		① 阿波市グ	゙ラウンド・	・ゴルフ協会	による事業の参加]								
	事業の	② 伊沢公民	館の趣味	未・サークル[団体									
	活動内容	3												
		4												
		5												
		指標名	各	計算式又	は指標設定理由 かんかい かんかい かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんか	単位		平成 27		平成 2	18 年度	平成 29 年		最終目標
	数値目標	市グラウンドゴル	ルフ大会	15人×2回		人	目標		30		30		30	
	(事業の目的	参加者数		10/(11/2)			実績		34		28			
	及び活動内	サークル活動参	加者数	24団体(6	00人×12回)	人	目標		7200		7200		7200	
	容の達成度 を測る指標)	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	77. 17.	_ ·	00)(11122)		実績		7180		7165			
	で 別の1日1本/						目標							
	7 M # C	A =1		6n A	=1	+1.	実績	 * #		_ 111 A +	<i>"</i>			
	予算費目	会 計	- I 	一般会		款			項	5 社会教		目 3 亿		<u> </u>
				^Z 成 27	年度決算	平成	28	年度決算	平成	29	年度予算		備考	
		国庫支出県支出			千円			千円			千円	-		
			<u>金</u> 債		<u>千円</u> 千円			<u>千円</u> 千円			千円 千円	-		
D	直接事業費	地 方 その他特定原			千円			千円			千円	-		
O		一般財	源		0 千円			0 千円			0 千円	1		
		一 放 知 計(A)	//示		0 千円			0 千円			0 十 _円 0 千円			
		正職員工数:	経費 0	.000 人	0 千円	0.000		0 千円	0.000	人	0 千円	4		
	人件費(B)			~ ~	指導員		入 公民館			公民館指導		1		
		臨時·嘱託工数·		.200 人	360 千円	0.200	人	360 千円		人	760 千円	1		
	全体事	業費(A+B)		/ \	360 壬円	5.250	- \	360			360 ∓⊞	-		

					エー:	いわでロ						> ⁄2 = ± 1	.		一治証法で	/ 등사 ㅁㅁ			— <i>\</i>	/ 	
		1	士 が中サーチ			ック項目	·叶 七:	ではアイセフタ	一			·次評(Щ		-次評価 <i>σ</i>					評価	
		١.						「確保できる等 と響は大きくな		0	少ない	• •	大きい		ラブは熱心 て、多様化し			0	少ない	• 7	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、	次年	度以降実	施す	る緊急性が認	いめられない。	0	ない	•	ある		していくこと	が必	要で	0	ない	● å	5る
	性							方法等の改善の		0	ある	•	ない	す。				\circ	ある	• to	ほい
		4.	住民ニーズ <i>0</i> 上回るサーb				隣自	治体と比較し	,てニーズを 	0	いる	0	いない					0	いる	⊙ ι	ない
		1.	施策の目的を	実現するた	めに、	、事業内容	容が』	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	ربا (いえる		自主運営の ので有効性			0	いえない	● ι	vえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化な。	ど、旅	施策への 貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	い	いえる	ず。	ので有効性	£/J`Ø∑	りかま	0	いえない	● ι	vえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中	で類	似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しない					0	する	● 1	ない
HECK		4.	事業の継続を	としても成	果の	向上が期	待で	きない。		0	できな	r, •	できる					0	できない	• 7	 きる
CK		1.	目標設定に対	付して進捗	状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて会	劣っている		ラブが効率			0	目標に比	べて劣っ	ている
	達世	2.	目標設定に対	対して成果	があ	まり上が	うて	いないと思う	0	0	あまり」	上がってし	いない		f動も活発 ^を ています。	なの)	で十分	0	あまり上が	っていな	い
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね	目標	を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	成してに	いる					•	概ね達成	している	
		4.	目標設定に対	付して十分	に目	標を達成	えして	いると思う。		•	十分達	重成して(いる					0	十分達成	している	
		1.	効果に比べて	こコストが	高い	0				0	高い	0	適当		ラブは、熱が動している			0	高い	• i	 当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハ	ウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できなし	性は高い		<i>o,</i> c.	、刈平	•	できる	0 7	できない
	性	3.	予算・人員と	≤成果の関	係で	、実施手	段等	を見直す余地	ヹがある。	0	ある	•	ない					0	ある	• to	すい
		4.	電子化や契約	内方法の変	更な	どにより	コス	ト削減の余地	ヹがある。	0	ある	•	ない					\bigcirc	ある	• to	すい
						_	次評	価							二》	欠評值	5				
	1111	三点	必要性	有効性	ŧ	達成原	叓	効率性	総合評	陌		必要	性	有効性	達成度	F	効率性	生	総	合評個	<u> </u>
			4	4		4		4	A			4		4	3		3			Α	
		後の	○拡大・充			維持)	方法改善	〇 民間委	迁等			大・充実)			方法改善		○ 氏間]委託	等
A	万川	句性	○ 縮小	│○ 統合	/終	期設定	0	廃止/休止			(○ 縮 ₋	,		**************************************		<u> </u>				
ACT														次評価での	り指摘事項	及び	一次評	価との	の相違点	ā.	
		面の	当面は現在	の活動が	でき	るよう努ん	める	必要がありま	₫.												
Ĭ	課	題	コ血でが圧	U) /LI 2010		00,771,	., ₍₎	20 5/10	, 0												
0											:	€動の う	支援と自	主運堂の指	i 導を行って	くださ	51.1.				
N		车案						». —			ľ	1 293 47 2	~,,,,,		14761176	,	. • 0				
			館の利用を	効率よくし	、史	こ新しい	クラ	ブも受け入れ	るようにしま	す。											
		画																			
		曼会 事項																			

	No. 40 —	23 基本事務事	業名 伊沙	尺公民館別	拖設管理事業	事務事為	業名 公.	民館施設管理	事業	公的関与	8 シ	一ト作成日	平成29年	₹6月15日
	部局名	耈	育委員	숲	課名	公民館	涫	主務課長	名	坂東 孝一	シー	ト作成者名	長涛	頓 和文
	事業区分	○ 1 ソフト	事業		3 経常的事務事	業	5 補助	金·負担金·支	援 📗 🕳	業運営方法	✓ 1 [営	3 全	部委託
	争未区刀	○ 2 ハード	事業	0	4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・その	の他	未理呂刀法	2 -	-部委託	✓ 4 補	亅
		基本構想(政	(策) 1.	人が輝くま	きちづくり			実施計画			事業	₹の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	策)(2)	生涯学習	の充実		C)1 該当	平	·成 年	~ 平	·成 年	√期間	設定なし
		主要施策	(2)	生涯学習	関連施設の整備充	医実•機能强	鱼化 ●)2 非該当	村	艮拠法令等	社会教育	法 阿波市公	民館条例	
		対象(誰を、 何を)	市民											
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	地域生涯	学習の拠点として	、利用者が	「安全で怕	央適に活動でき	るように糸	負担を図り はまま はまま はっぱい はいい はいしん かいしん はいい はい	Jます。			
PL		たいのか)	今年度											
A		具体的にどの	りような	舌動を行し	ゝますか。(主なも	の5つま	で)							
N		① 日常の公												
	事業の	② 夜間・休日	∃•祭日0	り貸出の連	絡調整									
	活動内容	③ 電気の保	安業務・	消防設備の	D点検業務									
		④ 浄化槽の	清掃点核	食業務										
		⑤ 公民館の												
		指標名		計算式又	は指標設定理由	単位		平成 27	年度	平成 28	年度	平成 29	年度	最終目標
	数値目標	開館日数		359日		日	目標		359		359		359	
	(事業の目的	7/1 H 2/2		ОООД		Н	実績		359		359			
	及び活動内	利用団体数		24団体		クラブ数	目標		24		24		24	
	容の達成度 を測る指標)					,,,,	実績		24		24			
	では1の1日1年/						目標							
	7 M # D	A =1		ÁD	A =1		実績	 * #		_ 141	* #			±
	予算費目	会 計	1		会計	款			項	5 社会教		目 3	公民館費	
		园 庄 士 山		成 2		平成	28	年度決算	平成	29 年	度予算		備考	
		国庫支出県支出	金		千円			<u>千円</u> 千円			千円 千円	1		
		<u>宗 又 山</u> 地 方			<u>千円</u> 千円			<u> </u>			千円	-		
D	直接事業費	地 力 その他特定則			45 千円			20 千円			20 千円	-		
0		一般財	源		3,171 千円			3,195 千円		3	.463 千円			
		計(A)	//示		3,216 千円			3,215 千円			, 483 千円	1		
		正職員工数:	経費 0	000 人	0 千円			0,210 113			0 千円	1		
	人件費(B)	臨時·嘱託聯			館指導員		入 公民館			公民館指導		1		
		臨時·嘱託工数·		380 人	684 千円		人	684 千円		人	774 千円	1		
		業費(A+B)		1	3.900 千円			3.899 千円			.257 千円	1		

				エー、、	ック項目				`	欠評価		_	-次評価の記	4 DB		二次	11 /# 1
		1	市が実施しなくても			:が確保できる9	さ 他の宝饰	_							1		
			主体があり、事業を	廃止・	休止しても	影響は大きくな	こし 、		少ない	0 7	大きい		もしなくては 団体はないと		(少な		大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中	、次年	度以降実施	する緊急性が認	忍められない。	0	ない	○ <i>t</i>	ある	す。			○ ない		ある
	性		住民満足度の向上のた					0	ある	to	けい				<u></u>		● ない
		4.	住民ニーズの低下が 上回るサービスとな			自治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	• ı	ない				○ いる		● いない
		1.	施策の目的を実現する	ために、	事業内容が	が必ずしも適切と	はいえない。	0	いえない	• ı	vえる		本・クラブの		() いえ;	ない	● いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化	など、施	策への貢献	度が著しく高いと	とはいえない。	0	いえない	• ı	える	です。	であり有効性	こは向い	いえ	ない	・いえる
C	郊 性	3.	市が実施する施策の	中で類	似・重複し	た事務事業が存	存在する。	0	する	⊙ ι	ない				○ する		● しない
HECK		4.	事業の継続をしても	成果の	向上が期待	できない。		0	できない	O 7	できる				○ でき	ない	● できる
CK		1.	目標設定に対して進	捗 状況:	が劣ってい	ると思う。		0	目標によ	とべて劣って	ている		の利用者は	多く、十分	○ 目標	に比べ	て劣っている
	達	2.	目標設定に対して成	果があ	まり上がっ	ていないと思う	5 .	0	あまり上:	がっていな	ر،	達放して	います。		○ あま!)上がっ	ていない
	成度	3.	目標設定に対して概	ね目標	を達成して	いると思う。		0	概ね達点	せしている					● 概ね	達成し	ている
		4.	目標設定に対して十	分に目標	標を達成し	.ていると思う。		0	十分達用	成している					〇 十分	達成し	ている
		1.	効果に比べてコスト	が高い。	0			0	高い	O i			司じ施設をま		○高い		● 適当
	効率	2.	他の実施主体のノウ	ハウや	新たな制度	を活用できる。		0	できる	O 7	できない		費面での節、効率性は		(でき	3	● できない
	坐性	3.	予算・人員と成果の	関係で、	、実施手段	等を見直す余地	也がある。	0	ある		ほい	す。			<u></u>		● ない
		4.	電子化や契約方法の	変更な	どによりコ	スト削減の余地	也がある。	0	ある	• to	すい	1			ある		○ ない
					一次	評価							二次	评価		<u> </u>	
	証値	西点	必要性 有郊)性	達成度	効率性	総合評	価		必要性	7	有効性	達成度	効率	性	総合	合評価
				4	4	4	A			4		4	3	3			<u>A</u>
		多の		現状		方法改善	〇 民間委託	辻 等	C			● 現物	_	757-71		氏间	委託等
ACT	ות	句性	○縮小 ○統	合/終其	朝設正 (廃止/休止			C	縮小	0	統合/終				<u>——</u>	
C					- # / \	-,, ,						評価での	指摘事項及	ひ一次計	<u> 1</u> 価との相	<u> </u>	
Ţ			公民館の維持管理	に多くの)質用か要	とりますが、節約	して連宮して	いされ	Ξ								
10	誅	題	いと思います。							-m // -t-l		VIII V	15-0	- A 11		<i>'</i> -	
N	¬L -1	+ -								埋的・効 を進めて			、施設の長寿	命化に同	けた維持管	営埋を	目指した取
		革案	経費を削減するため	かに冷暖	爰房を適切	に使用し、必要	のない照明等	等を節	約	と進めて	. 11200	•0					
		と行 ・画	します。														
		員会 i事項															

	No. 40 —	24 基本事務事	業名 林 4	公民館企画選	軍営事業	事務事業	業名 地垣	ずふれあい体	験事業	公的関与	8 5	ンート作成日	平成29年	F6月12日
	部局名	教	対育委員	会	課名	公民館	官	主務課長	名	坂東 孝一	シ	一ト作成者名	長涛	頭 和文
	古类区八	① 1 ソフト?	事業	3	経常的事務事	業	5 補助会	金·負担金·支	援 📗 🕳 🛪	美運営方法	✓ 1 [直営	□ 3 全	部委託
	事業区分	O 2 11-15	事業	0 4	施設の維持管	理	6 内部管	管理事務・その	D他 ^{争 表}	F 連呂力法	2 -	一部委託	4補	助等
		基本構想(政	(策) 1.	人が輝くまち	づくり			実施計画			事第	業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	策)(2))生涯学習の)充実		0	1 該当	平月	 年	~ ₹	F成 年	√期間	設定なし
		主要施策			E学習プログラ	ムの整備・技		2 非該当		拠法令等	社会教育	育法 阿波市公民		
		対象(誰を、 何を)	市民											
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	花作りを通し	て4町住民の3	を流づくりを	図ります	0						
PL		たいのか)	今年度											
AN		具体的にどの	りようなえ	舌動を行いま	すか。(主なも	の5つま	で)							
N		① 年6回開	催し、季節	節に応じたガー	-デニングの基	礎(土壌・肌	円料)を講	習や実習をしま	きす。					
	事業の	② 家庭で花	作りをして	ている中で生し	じた疑問を講座	のときに、	講師より指	旨導が受けられ	<i>,</i> ます。					
	活動内容	3												
		4												
		5												
		指標名	各	計算式又は	指標設定理由	単位		平成 27	年度	平成 28	年度	平成 29	年度	最終目標
	数値目標	ガーデニング参	tin I ₩h	1回20人×	െ	人	目標		120		120	0	120	
	(事業の目的	カーナーング参	加入致	1回20人人	OE		実績		116		87	7		
	及び活動内						目標							
	容の達成度						実績							
	を測る指標)						目標							
							実績							
	予算費目	会 計		一般会			10 教育			5 社会教		目 3	公民館費	Ę
				Z 成 27	年度決算	平成	28	年度決算	平成	29 年	度予算		備考	
		国庫支出			千円			千円				∃ ガーデニング	講師が、	29年度か
		県 支 出	金		千円			千円				ら変更		
	直接事業費	地 方	債		千円			千円			千円	—		
D		その他特定原			千円			千円			千円			
0		一般財	源		118 千円			109 千円			60 千円			
		計(A)	/ 27 ≠ 1	200 1	118 千円			109 千円	0.000		60 千円			
	L/4 # /= \	正職員工数:		.000 人	0 千円			0 千円	0.000		<mark>0</mark> 千円	1		
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		公民館			公民館指			民館指導員				
		臨時·嘱託工数· 業費(A+B)		.350 人	630 千円 748 千円		人	630 千円	0.350	人	630 千円 690 千円			
	- 1/1/14	ま在(A十月)			/4X +H			7.59 +H			09U + H	11		

					4 - = -					⊢ =∓ /⊤	_		15 TH 6 54				==: /==	
					ック項目	S=+ /= - \			<u>— 2</u>	欠評価	1		-次評価の説			二次	評価	
		1.	市が実施しな主体があり、					0	少ない	0	大きい	住民の教 を図るた	な養を高めたり めに、必要性(交流の場 よありま	0	少ない	• :	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況	況の中、次年	度以降実施す	よる緊急性が認	思められない。	0	ない	•	ある	す			0	ない	O 7	ある
	性		住民満足度の向					0	ある	•	ない				0	ある	• 1	ない
		4.	住民ニーズの仕上回るサービス			自治体と比較し	,てニーズを 	0	いる	•	いない				0	いる	Ο ι	いない
		1.	施策の目的を実	現するために	、事業内容が	必ずしも適切と	:はいえない。	0	いえない	•	いえる		参加されてい の向上はあり		0	いえない	• u	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ネリ化など、カ	施策への貢献度	₹が著しく高いと	とはいえない。	0	いえない	•	いえる	- C、/及未	のがしているのう で	^ 7 °	0	いえない	• ı	いえる
C H	郊性	3.	市が実施するが	施策の中で類	似・重複した	と事務事業が存	存在する。	0	する	0	しない				0	する	O I	しない
E		4.	事業の継続を	しても成果の)向上が期待で	できない。		0	できない	•	できる				0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	して進捗状況	₹が劣っている	ると思う。		0	目標に比	とべて劣	っている)申込数は増え で、十分達成 ⁻		0	目標に比り	べて劣っ	ている
	達世	2.	目標設定に対	して成果があ	まり上がって	ていないと思う	j _o	0	あまり上っ	がってい	ない	ると思い		C	0	あまり上が	っていな	ţ ()
	成度	3.	目標設定に対	して概ね目標	を達成してし	いると思う。		0	概ね達成	붗してい	<u>る</u>				•	概ね達成	している	
		4.	目標設定に対	して十分に目	標を達成して	ていると思う。		•	十分達成	成してい	3				0	十分達成	している)
		1.	効果に比べて:	コストが高い	\ _o			0	高い	0	適当		担からすれば 思います。	、効率性	0	高い	()	適当
	効率	2.	他の実施主体の	のノウハウや	新たな制度を	上活用できる。		0	できる	•	できない	18 5 7	10.0°6.7°		•	できる	0	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係で	、実施手段等	ệを見直す余地	也がある。	0	ある	0	ない				0	ある	O 7	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	こどによりコス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	0	ない				0	ある	O 1	ない
					一次評	平価							二次評	F 価				
	証値	西点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評	陌		必要怕	生	有効性	達成度	効率	生	総	合評值	西
			4	4	4	4	A			4		4	3	3			Α_	
		多の	○拡大・充乳		Ŭ		〇 民間委託	托等	\mathcal{C}		* 充実	● 現物		方法改善		○ 民間	委託	等 ———
A	יו כ	句性	○縮小	○ 統合/終	期設定 〇	廃止/休止			C	縮小)	統合/終	0	廃止/休 び 次記		の出学上		
C	.I		/> (.				. –			は計画での	指摘事項及	ひ一次評	個と	かれ はいかい かいかい かいかい かいい かいい かいい かいい かいい かいい	Į.	
Ţ			参加者は、積極	駆的に取り組み	もでいるのでこ	のまま続けられ	れたらいいかと	思いる	F									
0	誄	退	す。															
N	-/ -								活	動の支	援と自主	運営の指	導を行ってくた	さい。				
		案	7 / A STATE ()	4														
	ど 計		予算の減額はし	しないで飲しい	いと思います。													
									L_									
		員会 i事項																

	No. 40 —	25 基本事務事	業名林り	公民館企 回	画運営事業	事務事	業名	林高齢者教室			公的関与 8	シー	-卜作成日	平成29年	丰6月15日
	部局名	孝	対育委員	会	課名	公民	館	主務課品	長名	坂東	₹ 孝一	シー	卜作成者名		頼 和文
	事業区分	1 ソフト	事業		3 経常的事務	事業() 5補	i助金・負担金・	支援	中米温	****	1直	営	3 全	È部委託
	争耒区万	O 2 / 1-1	事業	0	4 施設の維持	管理(6内	部管理事務・そ	の他	事業運7	宮万法 🗌	2 —	部委託	4 有	助等
		基本構想(政	(策) 1.	人が輝くる	まちづくり			実施計画				事業の	ρ開始・終了	,	
	総合計画	基本計画(施	策)(2)	生涯学習	の充実			● 1 該当		平成	年 ~	平原	年	✓ 期間	設定なし
		主要施策	(5)	特色ある生	生涯学習プログラ	ラムの整備	•提供	○ 2 非該当		根拠法	令等 社会	教育》	去 阿波市公	民館条例	
		対象(誰を、 何を)	林地区の)高齢者											
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	高齢者の	教養の向上、健	康の増進、	. 生きが	いづくりを図りま	す。						
PL		たいのか)	今年度												
AN					ヽますか。(主な										
N		① 年3回の	お誕生会	を開催し、	長寿をお祝いす	るとともに	講師を拮	召いて健康づくり	等の講義	を受けす	実践します。				
	事業の	② 林幼稚園	児と「ふれ	1あいクリ:	スマス会」を開催	し、交流の)場を提	供します。							
	活動内容	③ 林小学校	3年生と	「わら細工」	」「竹細工」をして	、文化の伝	云承を行	います。							
		④ 公民館施	設の清掃	奉仕をしる	ます。										
		⑤ 一日研修	を実施し	、自己の見	見聞を広めます。										
		指標	Ż	計算式又	な指標設定理	由 単位		平成 2	7 年度	<u> </u>	·成 28 年原	世	平成 29	年度	最終目標
	数値目標	お誕生会		1回70人	× 3回	人	目		24	10		210		210	
	(事業の目的	05誕工五		1四70人	. ^ 0 🖂		実		16			161			
	及び活動内	クリスマス会		 1回70人		人	目			30		70		70	
	付いほ水皮	ノリハマハ云		1四70八	•		実			51		48			
	を測る指標)	一日県外研	次	1回50人		人	目			06		50		50	
			9				実		į	51		33			
	予算費目	会計			会計	泉		教育費		頁 5	社会教育費		目 3	公民館費	貴
				成 2	7 年度決算	平成	. 28	3 年度決算	平成	, 29	9 年度予			備考	
		国庫支出			千	·円		千	円					ア講師が、	. 29年度か
		県 支 出			千	·円		千	円				o変更		
	直接事業費	地 方	債		千	·円		千	円			千円			
D	但汉于不具	その他特定原	け源			·円		千	円			千円			
0		一般財	源		86 ∓	·円		88 千	円		90	千円			
		計(A)			86 T	·円		88 千			90	千円			
		正職員工数:		000 人	0 ∓	円 0.000	, ,	0 千	∄ 0.00	0 人		千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託耶			館指導員		公民的	館指導員			館指導員				
		臨時·嘱託工数·	経費 0.	450 人	810 T	⊕ 0.450)人	810 千		0 人	810	千円			
	全体事	業費(A+B)			896 ∓	·円		898 ∓	m T		900	千円			

				エ	ェック項目						次評価	ж			·次評価の	ノミドロ	18		一 %	評価	
		1	市が宇体した			性も	で確保できる等	こ 他の宝体							次評価の 養を高めた						
	. ,	١.					/唯休できる等		0	少ない	0	大きい	坩	易を図る	ことにより				少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次	年度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	0	ある	<u> </u>	分あると	思います。			_	ない	•	
	性						方法等の改善の		0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4.		の低下がみられ ごスとなって I		隣自	治体と比較し	,てニーズを 	0	いる	•	いない						0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	こ、事業内容	容が』	必ずしも適切と	:はいえない。	0	いえな	r, O	いえる			参加できて			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	とはいえない。	0	いえな	ı, O	いえる	7.5	<u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>	1200	_ /65 0		0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	した	:事務事業が存	在する。	0	する	0	しない						0	する	•	しない
HECK		4.	事業の継続る	をしても成果の	の向上が期	待で	きない。		0	できな	γ, Θ	できる						0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて貧	劣っている			業は、参加できている			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果が	あまり上が	うて	いないと思う	j ₀	0	あまり」	こがってし	いない		まは延戍 す。	, (2 () %	<i>) ⊂ i</i> ∪	,, ,	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	成してい	いる						•	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	えして	いると思う。		•	十分達	成してし	いる						0	十分達成	してい	3
		1.	効果に比べて	てコストが高い	,۱ _°				0	高い	•	適当			担の観点対し、自己			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウ [・]	や新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0	できなり	いし	ン安い経	費で運営			•	できる	0	できない
	性	3.	予算・人員と	と成果の関係	で、実施手	段等	を見直す余地	かある。	0	ある	0	ない	芯	思います。	0			0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	的方法の変更	などにより	コス	ト削減の余地	かある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
					_	次評	価								二	欠評	価				
	評化	甲	必要性	有効性	達成原	叓	効率性	総合評	陌		必要	性	有	効性	達成度	Ŧ	効率	生	総	合評	価
			4	4	4		4	A	hh		4	<u> </u>		<u>4</u>	3		3	<u>+</u>		A	r hh
		多の	○拡大・弁		状維持 4世記立		方法改善	〇 民間委託				大・充実		● 現状			方法改善		〇 氏師]委言	t寺 ———
ACT	יוכל	句性	○ 縮小	○ 統合/約	冬期設定_	0	廃止/休止			1) 縮/	_		流合/終			廃止/休		○ 中 净 ↓		
C	.I	- a	/ 	W W. II -				.				_	.火計	1回 じの	指摘事項	奴し	人一次評	·加と	の相違に	3.	
Ţ		題の	行事の準備・	進行・後始末	こ全るまで 些道してい	目王!	的に連宮が凶 ハと思います。	られています。													
10	砵	迅	云可処理寺に	いてらるように	旧等してい	<i>اے ا</i> کے	いと心ではり。														
N	⊐ <i>h</i> 1	革案								—— 污	動のう	支援と自	主運	営の指	導を行って	くだ	さい。				
		₽余 【行			員会等の運	営営を	自主的にでき	るよう、改革し [・]	ていき	:t=											
		画 「I	いと思います	0																	
		員会_								•											
	指摘	事項																			

	No. 40 —	26 基本事務事	業名 林	公民館生活文	化振興事業	事務事簿	業名 各	種団体の育成		公的関-	与 9 シ	ート作成日	平成29年	丰6月15日
	部局名	教	枚育委員	会	課名	公民館	馆	主務課長	名	坂東 孝-	- シ-	−ト作成者名┃		瀬 和文
	事業区分	① 1 ソフト?	事業	○ 3 糸	怪常的事務事	業 🔘	5 補助	金·負担金·支	援	業運営方法	1 [営	3 全	部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業	(4 が	を設の維持管3	理	6 内部	管理事務・その	の他	未连占力应	2 -	−部委託	✓ 4 補	亅
		基本構想(政	(策) 1.	人が輝くまち	づくり			実施計画			事業	€の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	(2)生涯学習の	充実		C)1 該当	平	成	□ ~ 平	·成 年	✓ 期間	設定なし
		主要施策	(6)関係団体の	育成		()2 非該当	相	视法令等	社会教育	舒法 阿波市公司	民館条例	
		対象(誰を、 何を)	林地区(の高齢者										
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	地域における	積極的な社会	参加活動	を支援す	ると共に、利用	団体とのi	重携を密にし	て発表の場	まを設けるように	します。	
PL		たいのか)	今年度	自主活動がて	ごきるように援助	を行いま	す。							
A		具体的にどの	のような	活動を行いま	すか。(主なも	の5つま	で)							
N		① 年末年始	ìを除き、	日曜日から土曜	翟日まで24団体	が定期的	りに利用	しています。						
	事業の	② 子供会の	レクリェー	ーションやスポ-	ーツ少年団の合	宿もあり	ます。							
	活動内容	3												
		4												
		⑤												
		指標名		_	指標設定理由	単位		平成 27	年度	平成 2	3 年度	平成 29	年度	最終目標
	数値目標	林長寿クラブ	参加人			人	目標		130		120		120	
	(事業の目的	数		老人体育大会	€:30人		実績		108		120			
	及ひ沽動内	クラワントコ.	ルフ参	月例大会:12	20人 その他	人	目標		300		280		150	
	容の達成度 を測る指標)	加人数		の大会:30			実績		240		160			
	で 別の日宗/	サークル活動	协参加	24団体×12	20	□	目標		280		280		280	
	3 65 # 5	団体					実績	<u> </u>	256	_ 1.1. 4.4/	265			
	予算費目	会 計	1 -	一般会計		款	10 教		項	5 社会教			公民館費	
				P成 27	年度決算	平成	28	年度決算	平成	29 -	F度予算		備考	
		国庫支出県支出			千円			千円			千円	-1		
		県 支 出 地 方	<u>金</u> 債		千円 千円			<u>千円</u> 千円			千円 千円	-		
D	直接事業費	地 力 その他特定則			千円			千円			千円	-		
O		一般財	源源		0 千円			0 千円			0 千円			
		一 版 知 計(A)	//示		0 千円			0 千円			0 千円			
		正職員工数:	経費 ∩	.000 人	0 千円	0.000		0 千円	0.000	į.	0 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		公民館指			ス 公民館			公民館指導		1		
		臨時·嘱託工数·	-	0.100 人	180 千円		人	180 千円	0.100		月 180 千円	1		
	全休事	業費(A+B)			180 壬田	550		180 千円		^	180 千円	-1		

					- -	ック項目						∙ দ ≘ক	/ш			·次評価 <i>0</i>	\ =\	10		— <i>\</i>	-= च्या / उस	
		1 4	+18+11	·> /			·	ジャル・ナフダ	ル の中状			-次評	Щ								評価	
		١.						「確保できる等 と響は大きくな		0	少なし	,)大きい	7	てが趣味	がないの [*] クラブで熱			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の「	中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	められない。	0	ない	•	ある	— —	舌動してい	います。			0	ない	•	ある
	性							方法等の改善の		0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズ <i>0</i> 上回るサーb				隣自	治体と比較し	,てニーズを 	0	いる	•	いない						0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現す	るために	、事業内	容が』	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	:t1 (いえる			で活動して 貸出業務			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリイ	上など、カ	施策への貢	献度	が著しく高いと	こはいえない。	0	いえな	:t1 (いえる			ると思いま		נולניוינא	0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の	の中で類	似・重複	した	- 事務事業が存	在する。	0	する	•	しない						0	する	•	しない
HECK		4.	事業の継続を	をしても	も成果の	向上が期	待で	きない。		0	できな	:11) できる						0	できない	•	できる
C		1.	目標設定に対	対して近		が劣って	いる	と思う。		0	目標は	比べて	劣っている			活動団体が成できてい			0	目標に比	べて劣	っている
	達世	2.	目標設定に対	対して原	成果があ	まり上か	うて	いないと思う	0	0	あまり.	上がって	いない		まにほ	及でさてい	'∂C	心でいる	0	あまり上か	ってい	はい
	成度	3.	目標設定に対	対して机	既ね目標	を達成し	てい	いると思う。		0	概ね遺	産成して	いる						•	概ね達成	している	3
		4.	目標設定に対	対して-	十分に目	標を達成	して	いると思う。		•	十分道	達成して	いる						0	十分達成	してい	3
		1.	効果に比べて	てコス	トが高い	۱ ₀				0	高い	•	適当			非常に高い富んでいる			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノ「	^{フハウヤ}	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•) できな		y) + ± ⊂	шисс	~ / 0)	•	できる	0	できない
	性	3.	予算・人員と	と成果の	の関係で	、実施手	段等	を見直す余地	ヹがある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	的方法(の変更な	どにより	コス	ト削減の余地	がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
						_	次評	価								二》	欠評	価				
	量亚石	西点	必要性	有	効性	達成原	隻	効率性	総合評	肾価		必要	性	有	効性	達成度	F	効率	生	総	合評	価
		川流	4		4	4		4	Α			4			4	3		3			Α	
		後の	○ 拡大・充		● 現状)	方法改善	〇 民間委	托等			大・充実		● 現状		\bigcirc	方法改善	善		引委託	[等
Δ	方向	句性	○ 縮小		流合/終	期設定	0	廃止/休止				○ 縮	_		统合/終			廃止/休				
\overline{c}													=	次評	呼価での	指摘事項	及で	ゾー次評	価と	の相違点	Ī.	
ACT-		面の	各種団体の例	吏用等、	時間調	整が必要	です。	0														
0												壬動の	支援と自	3 主涯	『堂の指:	導を行って	くだ	さい				
N		革案									ľ	LI 33) V 7	∠]&C □	11.5	E [07] [1	461126	. \/_					
		€行 ·画	他の公民館と	≟連携を	計りなか	いら、充実	度をi	高めます。														
		□ 員会									_											
		事項																				

	No. 40 —	27 基本事務事	業名 林久	公民館施訓	设管理事業	事務	事業名	公民館施設管理	里事業	公的	関与 6	シート作成日	平成29年	手6月15日
	部局名	孝	首委員	숲	課名	公	民館	主務課長	名	坂東 孝	三 シ	/一ト作成者名	長河	頓 和文
	事業区分	1 ソフト	事業		3 経常的事務	§事業 (◯ 5 補.	助金·負担金·	支援	業運営方	1	直営	3全	部委託
	争未区万	O 2 11-15	事業	0	4 施設の維持	管理(06内	部管理事務・そ	の他	未理呂刀	△ 2	一部委託	✓ 4 補	亅
		基本構想(政	(策) 1.	人が輝くま	まちづくり			実施計画			事	業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	策)(2)	生涯学習	の充実			○ 1 該当	7	· 成	年 ~ 5	平成 年	✓期間	設定なし
		主要施策	(2)	生涯学習	関連施設の整備	備充実・機能	能強化	● 2 非該当	1	艮拠法令等	社会教	育法 阿波市公	民館条例	
		対象(誰を、 何を)	阿波市貝	€					•					
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	地域生涯	学習の拠点とし	て、利用者	≸が安全 [∼]	で快適に活動で	きるように糸	推持管理を	図ります。			
PL		たいのか)	今年度											
AN		具体的にどの	りような消	舌動を行し	ヽますか。(主な	なもの5つ	まで)							
N)			浄化槽保守点构	食、清掃業	務)							
	事業の	② 施設の運	営(日常	の公民館の	の貸出業務)									
	活動内容	3												
		4												
		5												
		指標名	各	計算式又	なお指標設定理	■由 単位		平成 27	7 年度	平成	28 年度	平成 29	年度	最終目標
	数値目標	開館日数		359日			目相		359		35		359	
	(事業の目的			ОООД			実糸		359		35			
	及び活動内	利用団体数		舞踊外2	3団体	団体	目標		24		2		24	
	容の達成度 を測る指標)	1371321132		7-2071 -			美術		24		2	.4		
	C (X10) 10 (X)						目標							
	7 体 井 口	A =11		60	A =1		実統		l	_ <u> </u> _	*\ * #		ハロ かす	*
	予算費目	会 計	1 1	一般			款 10 4		項				公民館費	₹
		园 庄 士 山		z成 2 ⁻			ኒ 28		平成	29	年度予算		備考	
		国庫支出県支出	金			f円 f円		千F 千F			千P 千P			
		地方				F円 F円		<u> </u>			<u> </u>			
D	直接事業費	その他特定則				f円		13 +			10 ∓₽			
O		一般財	源		2,875 =			5,397 千F			3,129			
		計(A)	////		2,886			5,410 千F			3,139 ↑ ₽			
		正職員工数:	経費 0	.000 人	0 =		00 人	0,110 TI		X	0,100 TT 0			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯			館指導員	3.00		官指導員		公民館指		Ť		
		臨時·嘱託工数·		.180 人	324	f円 0.18		324 ∓F			324 ↑ ₽	— 円		
		業費(A+B)		1	3 210 =			5 734 ±F			3 463 ∓₽			

			チェ	ツク項目				− ≥	欠評価	i	_	-次評価の記	说明		二次	評価
		1.	市が実施しなくても、公平 主体があり、事業を廃止・				0	少ない	•	大きい		もしなくては 体はないと		○ 引	かない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年	=度以降実施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある	す。	111 101 010		○ ta	いしょ	ある
	性	3.	住民満足度の向上のために、	現在の手段、	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない				O to	5 3	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられ 上回るサービスとなってい		治体と比較し	,てニーズを	0	いる	•	いない) l	' る	● いない
		1.	施策の目的を実現するために	、事業内容が	必ずしも適切と	:はいえない。	0	いえない	0	いえる		▲・クラブの であり有効性) l	えない	● いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、カ	施策への貢献度	が著しく高いと	とはいえない。	0	いえない	•	いえる	です。	このり有別に	こい口い	○ r.	えない	いえる
C	性	3.	市が実施する施策の中で類	類似・重複した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しない				ं व	る	● しない
HUCX		4.	事業の継続をしても成果の)向上が期待で	きない。		0	できない	0	できる				0 7	゙ きない	● できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況	記が劣っている	と思う。		0	目標に比	とべて劣	っている		の利用者は	多く、十分	O B	標に比り	「て劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があ	5まり上がって	いないと思う	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	0	あまり上っ	がってい	ない	達成しく	います。		O あ	まり上が	っていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標	で達成してい	いると思う。		0	概ね達成	大してい					● 概	₹ね達成し	している
		4.	目標設定に対して十分に目	標を達成して	いると思う。		•	十分達成	成してい	გ				O +	-分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い	١ _°			0	高い	0	適当		司じ施設をま 費面での節		〇 i	高い	● 適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウギ	b新たな制度を	活用できる。		0	できる	•	できない		貢画での 、効率性は		0 7		● できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で	:、実施手段等	を見直す余地	かある。	0	ある	•	ない	す。			_ t.	5 3	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更な	こどによりコス	ト削減の余地	がある。	0	ある	0	ない				● <i>t</i>	5 3	○ ない
			· ·	一次評								二次				
	評值	西点	必要性 有効性 4 4	達成度 4	効率性 4	総合評	7価		必要性 4	生 -	<mark>有効性</mark> 4	<mark>達成度</mark> 3	<u> </u>	性	総	合評価
	今後	を の		•	1 方法改善	A ○ 民間委託	托等			 · 充実			_ 	善() 民間	_ <u>A</u>]委託等
Δ		句性	○ 縮小 ○ 統合/終		廃止/休止			Č	縮小	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	統合/終		廃止/休	止		
ACT										二次	:評価での	指摘事項及	び一次評	価との	相違点	
H -0			公民館の維持管理に多くいと思います。	の費用が要り	ますが、節約	」して運営して	いき		r= 45 ±	₩ ₩ ₩ ₩	·军兴 十1	₩ - ₽₽Ε:	= & // . / . _	11.4 <i>4</i> 4.+	+ <i>bi</i> s TER <i>+</i>	+
N	ᇔ	革案						組		辺率的な てくださし		、他設の長	手命化に向	けた雑さ	守官埋る	目指した取
	と多	半年 実行 ·画	経費を削減するために冷します。	暖房を適切に	使用し、必要	のない照明等	手を餌	新			Ü					
		員会 i事項														

	No. 40 —	28 基本事務事	業名青	少年ホー	ム企画運営	事業	事務事簿	業名 教室	をクラブ活動	事業	公的陽	8 :	シート作成日	平成29年	丰6月15日
	部局名	教	対育委員	会	課名		公民館	馆	主務課長	名	坂東 孝	ー シ	/一ト作成者名	長涛	頓 和文
	事業区分	1 ソフト	事業		3 経常的	事務事業	美	5 補助3	金・負担金・支	援	業運営方法	± 1	直営	□ 3 全	部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業	0	4 施設の約	推持管理	里	6 内部	管理事務・その	の他	未理呂刀	2	一部委託	✓ 4 補	亅
		基本構想(政	(策) 1.	. 人が輝く	まちづくり				実施計画			事	業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	5策)(5	5)青少年(の健全育成			O	1 該当	平	成	年 ~	平成 年	✓期間	設定なし
		主要施策	(/	4)青少年(の体験・交流	活動の)充実	0	2 非該当	村	视法令等	社会教	育法 阿波市公	民館条例	
		対象(誰を、 何を)	市内に	居住する青	が年及び市	内の事業	業に勤務	する青少	年						
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	勺 勤労青少	少年の日常に	必要な打	爰助を与	え、そのネ	冨祉の増進を図	図ります。					
PL		たいのか)	今年度	支											
A		具体的にどの	のような	活動を行	いますか。(主なもの	の5つま	で)							
N		 各種スポ 	ーツクラ	ラブ(バレー	ボール・バト	ミントン・	卓球•硬:	式テニス・	ボウリング)						
	事業の	② 各種文化	活動(5	±花講座∙衤	ǩ道講座∙ 料珥	里教室•	異文化交	(流)							
	活動内容	③ ボランティ	ィア活動	(市内カー	ブミラー磨き・	ホーム	司辺除草	作業・ホー	-ム清掃)						
		④ カーニバ	ル活動	(Passion (Of Youthとい	うお祭り	の企画、	運営)							
		⑤													
		指標名	名	計算式	又は指標設定	定理由	単位		平成 27	年度	平成	28 年度	平成 29	年度	最終目標
	数値目標	各種スポーツクラ	ブ活動参	1ヶ日15	i0人×12カ月	a	人	目標		2400		240	0	1800	
	(事業の目的	加者数		1 / // 10	0)(\ 12/3)	J		実績		1850		170	0		
	及び活動内	教室、講座。参加	人类ケ	1ヶ日30	人×12カ月		人	目標		300		30		300	
	容の達成度 を測る指標)	外里、附注。 多加	77.90	1 / //100	// \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \			実績		270		27			
		ボランティア活動	参加者数	20人×:	2回		人	目標		40		4		40	
			<i>> </i>					実績		30			0		
	予算費目	会 計			会計		款	10 教育		項	5 社会			公民館費	₹
				平成 2	27 年度		平成	28	年度決算	平成	29	年度予算		備考	
		国庫支出				千円			千円			千円			
		県 支 出	金			千円			千円			千円	_		
	直接事業費	地 方	債			千円			千円			千円			
D		その他特定則				千円			千円			↑ P			
0		一般財	源			5 千円			383 千円			418 T F			
		計(A)	Λ 			5 千円			383 千円			418 ∓₽			
	1. //L = # / = >	正職員工数:		0.000 人		<mark>0</mark> 千円	0.000		0 千円			0 千P	"		
		臨時·嘱託耶			年ホーム指導				ーム指導員		青少年ホー				
		臨時·嘱託工数·	·経費	0.720 人		6 千円	0.720	人	1,296 千円		人	1,296 千F			
	■ 全体事	業費(A+B)			1 69	1 千四			1679 千円			1714 千日	4 I		

			チールカ西口		一为部件	一を製造の製品	— %r =π /≖
		1 -	チェック項目		一次評価	一次評価の説明	二次評価
		١.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少な	い	施設は、市内には1箇所しかな く、地域に根ざした若者の育成	○ 少ない ● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	ある	の場としてのニーズは高いとい えます。	○ ない ● ある
	性		住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<u></u>	● ない	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	○ ある ● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	いる	● いない		○ いる ● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえが	ない ① いえる	勤労青少年の学習の場、情報 提供に努めています。また少子	○ いえない ● いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえが	ない 💿 いえる	化・晩婚化に歯止めをかけるべ	○ いえない ● いえる
C	性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	● しない	く若者が集う場としての役割を 担っており有効性は高いといえ	する ● しない
HECK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できた	ない ① できる	ます。	○ できない ◎ できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標	に比べて劣っている	参加者には好評を得ています。 若者同士の口こみで利用者も増	○ 目標に比べて劣っている
	達出	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	あまり)上がっていない	加傾向にあり、目標に対して概	○ あまり上がっていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね	達成している	ね達成しています。	● 概ね達成している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	● 十分	達成している		○ 十分達成している
		1.	効果に比べてコストが高い。	○高い	● 適当	働く青少年のための余暇活動の みならずニート対策等若者を取	○ 高い ● 適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	る ● できない	り巻く問題に対応できます。	● できる ○ できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	ある	● ない		○ ある ● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある ● ない
			一次評価			二次評価	
	1111	三点	┃ 必要性 有効性 達成度 効率性 総合評	価	必要性	有効性 達成度 効率	性総合評価
			4 4 4 A A		4	4 3 3	Α
		多の	○ 拡大·充実 ● 現状維持 ○ 方法改善 ○ 民間委託	等	○ 拡大·充実	● 現状維持 ○ 方法改	
ACT	万川	句性	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止		○ 縮小 ○	統合/終期設定 ○ 廃止/休	
C			┃ 経費削減の状況下でありますが、ホームの利用者は増加しており必要性	- (+ 古 /	二次	評価での指摘事項及び一次評	『価との相違点
		面の!題	軽負削減の状況下でありますが、ホームの利用者は増加しており必要は 勤労青少年の福祉増進に関する施設として1つしかなく、現状の人員、予 実施していくべきと考えます。				
ON			Zillo Cu C CCG/LS y o		活動の支援と自主	運営の指導を行ってください。	
		草案 毞行	現状の活動内容、事業活動に加え、近年問題化しているニート対策など				
		·画	少年を取り巻く問題にも取り組む必要があります。				
		員会 事項					

	No. 40 —	29 基本事務事	業名 青	少年ホーム	施設管理事業	業 事務事	事業名 施	設管理事業		公的队	8 3	シート作成日	平成29年	丰6月15日
	部局名	耈	対育委員	会	課名	公臣	民館	主務課長	名	坂東 孝	ー シ	ノート作成者名	長河	頼 和文
	事業区分	1 ソフト	事業	0 (3 経常的事務	孫事業 () 5 補助	金•負担金•支	援 _車	業運営方法	1	直営	3 全	部委託
	争未区万	○ 2 ハード	事業	O 4	4 施設の維持	管理(6 内部	管理事務・その	の他	未理呂刀	五 2	一部委託	4 裤	助等
		基本構想(政	(策) 1.	人が輝くま	ちづくり			実施計画			事	業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	策) (5)青少年の	健全育成		()1 該当	平	成	年 ~ ·	平成 年	✓期間	設定なし
		主要施策	(4)青少年の	体験・交流活	動の充実	C)2 非該当	村	剥拠法 令等	社会教	育法 阿波市公	民館条例	
		対象(誰を、 何を)	市内に原	居住する青少	>年及び市内に	事業所に	勤務する青	少年			·			
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	勤労青少年	年の日常の援助	助と福祉の	増進を図る	ため、一般教	養講習会、	グループ活	動等効率的	的に行くえる維持	管理を図	ります。
PL		たいのか)	今年度											
AN		具体的にどの	りような	活動を行い	ますか。(主な	なもの5つ	まで)							
N)夜間の利用も									
	事業の	② 維持管理	業務(防	火設備·電	気の保安・浄化	ϲ槽設備点標	貪∙清掃業績	務)						
	活動内容	3												
		4												
		5												
		指標名	各	計算式又	は指標設定理	■由 単位		平成 27	年度	平成	28 年度	平成 29	年度	最終目標
	数値目標	施設の維持管理	開館日数	上 年間241日		日	目標		250		25		250	
	(事業の目的	2012 V 141 1 1 1 1 1 1	7.1741 - 20	1 18,2	'		実績		240		24	10		
	及び活動内						目標						300	
	容の達成度 を測る指標)						実績							
	で別の田宗						目標						40	
							実績							
	予算費目	会 計		一般组			欠 10 教		項				公民館	
				Z 成 27			28	年度決算	平成	29	年度予算		備考	
		国庫支出				f円 		千円			±F			
		県 支 出	金			f円 - m		千円			于F			
	直接事業費	地 方 その他特定則	債			f円 - m		千円	1		千F			
DO						f円 r m		千円 2,588 千円						
		<u>ー 般 財</u> 計(A)	源		,	f円 f円		2,588 千円 2,588 千円			1,321 ∓F 1,321 ∓F			
		正職員工数:	終弗 ○	.000 人	0 =		0 1	2,300 千円		1	1,321 +F			
	人件費(B)	臨時·嘱託職						ーム指導員		<u>へ</u> 青少年ホー				
		臨時·嘱託工数·		300 人	F小 A珀等貝 540 =			· A抽等貝 648 千円			4指导员 648 千F	田		
		^{臨時} 鴻心工数 業費(Δ+B)	TE U	.500 八	1 991 =		· /\	3 236 壬円		^ _	1969 ∓F			

				-							> /—==	Iπ			>h ==::/π <	\ <u>=</u> ⊻ r	10		_ ,,	=क / ज	
					ロック項目		ST# /D 1- T	F 10 F = 11			-次評·	1曲			·次評価の				二次	評価	
		1.					確保できる等 と響は大きくな		0	少なし	, () 大きし	い	ニーズも	増加傾向! 高く必要性	も高	いです。	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次年	年度以降実	施す	る緊急性が認	恩められない。	0	ない	•	ある		活動施設であります	としては、 す。勤労青	唯一 小年	·のもの ・の日堂	0	ない	•	ある
	性						方法等の改善の		0	ある	•	ない		生活に必	要な援助る			0	ある	•	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	•	いなし	۸,	して重要	です。 			0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	こ、事業内	容が必	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	:t1 (いえる	3		クラブ、同ち			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	とはいえない。	0	いえな	:t1 (いえる	3		に利用して			0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中で類	類似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	•	しなし	,١					0	する	•	しない
HECK		4.	事業の継続る	をしても成果の	の向上が期	待で	きない。		0	できな	:11) できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標は	比べて	劣ってい	る		としての教 クラブ等の			0	目標に比	べて劣	っている
	達世	2.	目標設定に対	対して成果がる	あまり上が	って	いないと思う	5 。	0	あまり.	上がって	いない		どおり実	施され、参	加者	におい	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	票を達成し	てい	ると思う。		0	概ね遺	産成して	いる		ても目標	を達成して	いま	す。	• :	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	して	いると思う。		•	十分道	達成して	いる						O .	十分達成	してい	
		1.	効果に比べて	てコストが高い	,۱ _°				0	高い	0	適当			は年々減団体も多く			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•) できた	ない	いです。	ロかしかく	<i></i> ∕/1 +	・「工な、「同	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	的方法の変更7	などにより	コス	ト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない						•	ある	0	ない
					_	次評	価								_;	欠評	価				
	電車右	西点	必要性	有効性	達成原	吏	効率性	総合訓	平価		必要	性	存	有効性	達成度	7.1	効率	生	総	合評	価
			4	4	4		4	Α			4			4	3		3			Α	
		後の	○ 拡大・弁		伏維持)	方法改善	〇 民間委	託等			大·充	実	● 現場			方法改善]委言	E等
A	方「	句性	○ 縮小	○ 統合/約	咚期設定		廃止/休止				○ 縮	_	\bigcirc	統合/終		\sim	廃止/休				
ACT													二次	評価での	指摘事項	[及(ゾー次評	価と0	の相違点	į.	
10	当課	面の!題	施設の設備等 施設改善をす	痔老朽化してい └る必要があり	、ます。利用 ます。	を促	進するため、	時代のニーズ	こあっ	í					:、施設の县	長寿に	命化に向り	けた維	持管理	を目指	した取
N	الح	革案 実行 ·画	施設の修繕等	等を計画的に行	テう必要がな	ありま	きす。			ž	祖を進る	めてくだ	ごさい	\							
		員会 i事項																			